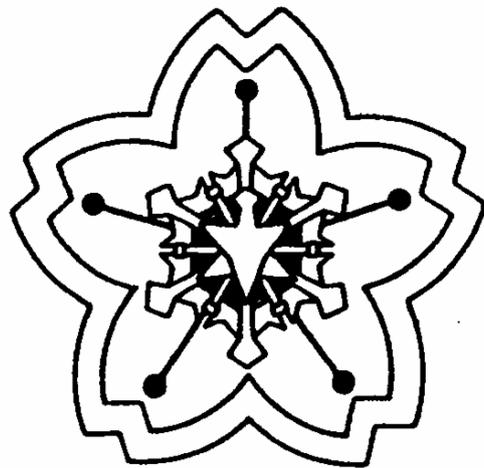


令和 3 年度

# 教育訓練実績の概要



千葉県消防学校

# はじめに

わが国の消防は、昭和23年に消防組織法が施行され、市町村消防を原則とする自治体消防制度が誕生して以来、関係者の努力の積重ねにより、制度、施策、施設等の充実強化が図られ、火災の予防、警防はもとより、救急、救助から地震、風水害等への対応まで広範囲にわたり、日々国民の安全の確保に努めているところです。

近年は、大規模な火災だけでなく、大型台風、広範囲にわたる記録的な豪雨、火山噴火、土砂崩れなどの自然災害が多発しています。令和4年3月には、福島県沖を震源とする震度6強の地震が発生し、今後、「首都直下地震」や「南海トラフ地震」の発生が危惧される中で、災害への対応が重要な課題となっております。

また、新型コロナウイルス感染症については、全国的な感染者数は緩やかな減少が続いているものの、再度増加に転じる可能性も含んでおり、いまだ予断を許さない状況が続いています。感染症の影響で消防・救急活動が困難な事例も多く見受けられるため、1日も早い収束を願わずにはられません。

このように、大規模化、また、複雑多様化する災害に、消防職団員が適切に対応するためには、消防大学校や都道府県等の消防学校が相互に連携し、教育訓練に当たるとともに、その充実強化を図ることが極めて重要となっております。

本校も市原市菊間に移転し、最新の訓練施設で日々訓練しております。今後も、より実践的な教育訓練を実施できるよう、更なる教育環境の充実強化を図って参ります。

本書は、令和3年度に実施した教育訓練の実績を取りまとめたものです。皆様の御参考とさせていただければ幸いです。

末尾ながら、本校教育訓練の実施に当たりまして、講師の方々をはじめ、関係機関の皆様には多大なる御支援、御協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

令和4年4月

千葉県消防学校長 小平 泰造

# 目 次

第1	令和3年度教育訓練実績	1
1	令和3年度教育訓練内容	1
2	令和3年度教育訓練実績表	3
3	令和3年度消防職員の教育訓練課程別修了者数	4
4	令和3年度消防団員の教育訓練課程別修了者数	5
第2	消防職員に対する教育訓練	7
1	初任教育	7
(1)	教育人員、日数等	7
(2)	初任科講師及び担当時間数	8
(3)	教育訓練アンケート結果	13
(4)	体力測定結果	14
(5)	資格取得状況	16
(6)	科目別教育訓練実績	17
(7)	学歴別入校人員・平均年齢	18
2	専科教育	19
(1)	教育人員、日数等	19
(2)	警防科講師及び担当時間数	20
(3)	特殊災害科講師及び担当時間数	21
(4)	予防査察科講師及び担当時間数	23
(5)	危険物科講師及び担当時間数	24
(6)	火災調査科講師及び担当時間数	25
(7)	救急科講師及び担当時間数	27
(8)	救助科講師及び担当時間数	34
3	幹部教育	39
(1)	教育人員、日数等	39
(2)	中級幹部科講師及び担当時間数	40
4	特別教育	41
(1)	教育人員、日数等	41
(2)	訓練指導科会講師及び担当時間数	42
(3)	はしご自動車等講習会講師及び担当時間数	44
(4)	水難救助科講師及び担当時間数	46

(5)	高度救助科講師及び担当時間数	49
(6)	気管挿管認定救命士再教育講師及び担当時間数	50
(7)	救急救命士再教育講師及び担当時間数	51
(8)	救急隊長再教育講師及び担当時間数	53
5	専科教育・幹部教育・特別教育 教育訓練アンケート結果	55
第3	消防団員に対する教育訓練	58
1	教育人員、日数等	58
2	専科教育	59
(1)	警防科	59
(2)	機関科	59
3	幹部教育	59
(1)	指揮幹部科現場指揮課程	59
(2)	指揮幹部科分団指揮課程	59
4	特別教育	60
(1)	訓練指導科	60
(2)	女性消防団員科	60
(3)	小型無人航空機（ドローン）基礎研修	60
(4)	オフロードバイク研修	60
5	その他	60
	指導員研修（消防協会主催）	60
6	教育訓練アンケート結果	61
第4	消防職団員以外の者に対する教育訓練	63
1	教育人員、日数等	63
2	教育訓練アンケート結果	64
第5	令和3年度資機材等整備状況	66
第6	千葉県消防学校の概要	67
1	沿革	67
2	組織機構	70
3	施設等の状況	72

## 第1 令和3年度教育訓練実績

### 1 令和3年度教育訓練内容

#### (1) 教育訓練の目的

消防職員及び消防団員に対し消防の責務を正しく認識させるとともに、知識・技術の習得、体力の錬成、規律の保持、協働精神のかん養を図り、能率的かつ適格に職務を遂行し得るような教育訓練を実施する。

#### (2) 教育訓練の種別

##### ア 消防職員に対する教育訓練

##### (ア) 初任教育

新規採用職員に対し、消防職員としての職責を自覚させるとともに、消防業務上必要な基礎的知識及び技術の修得と体力の錬成を図る。

##### 初任科

##### (イ) 専科教育

災害の複雑多様化に対処するため、警防・予防・救急・救助等特定分野に関するより高度な専門知識や技術の修得を図る。

##### a 警防科

##### b 特殊災害科

##### c 予防査察科

##### d 危険物科

##### e 火災調査科

##### f 救急科

##### g 救助科

##### (ウ) 幹部教育

現場における監督者として必要な知識の修得及び指揮管理能力の向上を図る。

##### 中級幹部科

##### (エ) 特別教育

特別の目的のために行う教育訓練であり、災害現場における責任者として消防活動に係る認識及び高度救助や水難救助の専門的知識の修得、はしご自動車の取扱いに必要な技術の修得、また、救急救命士の再教育の充実を図る。

- a 訓練指導科
- b はしご自動車等講習会
- c 水難救助科
- d 高度救助科
- e 気管挿管認定救命士再教育
- f 救急救命士再教育
- g 救急隊長再教育

イ 消防団員に対する教育訓練

(ア) 専科教育

消防団員として、災害時に安全に活動できる知識及び技術の向上を図る。

- a 警防科
- b 機関科

(イ) 幹部教育

消防団幹部として、訓練時及び災害時における現場指揮に必要な知識及び技術の修得を図る。

- a 指揮幹部科現場指揮課程
- b 指揮幹部科分団指揮課程

(ウ) 特別教育

総務省消防庁より無償貸付けを受けた小型無人航空機（ドローン）及びオフロードバイク研修を行い知識及び技術の修得を図る。

- a 訓練指導科
- b 女性消防団員科
- c 小型無人航空機（ドローン）基礎研修
- d オフロードバイク研修
- e 一日入校
- f 現地教育

ウ 企業の自衛防災組織等に対する教育

自衛防災要員等研修

石油コンビナート等災害防止法に基づく特定事業所の自衛防災要員等として、安全管理の徹底を図り防災活動等が行えること。

2 令和3年度教育訓練実績表

課程		区分	教育人員	教育実日数	教育時間数	担当講師の延教育時間数		
						専任	外来	計
消防職員教育	初任教育		261	222	1,600	8,783	1,346	10,129
	専科教育		336	156	1,076	1,907	3,661	5,568
	幹部教育		16	8	54	171	11	182
	特別教育		137	45	306	925	948	1,873
	小計		750	431	3,036	11,786	5,966	17,752
消防団員教育	基礎教育		0	0	0	0	0	0
	専科教育		8	4	24	94	7	101
	幹部教育		24	4	24	104	3	107
	特別教育		115	6	36	198	37	235
	その他		40	2	12	60	0	60
	小計		187	16	96	456	47	503
企業	自衛防災要員等研修		66	7	49	309	7	316
	小計		66	7	49	309	7	316
合計			1,003	454	3,181	12,551	6,020	18,571



4 令和3年度消防団員の教育訓練課程別修了者数

教育訓練の種類 所属名	警防科	機関科	指揮幹部科 現場指揮課程	指揮幹部科 分団指揮課程	訓練 指導科	女性消防 団員科	小型無人航空機 (ドローン)基礎研修	オフロード バイク研修	指導員研修
	第14期	第8期	第7期	第7期	第39期	第16期	第4回	第4回	
千葉市消防団						4			2
銚子市消防団						2			
市川市消防団	2					2			
船橋市消防団			1	1	2	2			2
木更津市消防団					3	2			
松戸市消防団									
野田市消防団						2			
成田市消防団					4				1
旭市消防団									1
習志野市消防団	2	2			2		1		1
柏市消防団			2	2	3				3
市原市消防団					3	2	1	1	1
流山市消防団			2	2	1				
八千代市消防団					1	1			2
我孫子市消防団				4					
鎌ヶ谷市消防団									
君津市消防団					2				
富津市消防団									3
浦安市消防団	1	1				2			
四街道市消防団						2			1
袖ヶ浦市消防団			1	1		3	8	4	
富里市消防団									2
栄町消防団					1	2			
長生郡市広域 市町村圏 組合消防団					3		1	5	

教育訓練の種類 所属名	警防科	機関科	指揮幹部科 現場指揮課程	指揮幹部科 分団指揮課程	訓練 指導科	女性消防 団員科	小型無人航空機 (ドローン)基礎研修	オフロード バイク研修	指導員研修
	第14期	第8期	第7期	第7期	第39期	第16期	第4回	第4回	
香取市消防団					6				
多古町消防団									
東庄町消防団									
館山市消防団			2	2	3	1			1
佐倉市消防団							7	4	2
東金市消防団									
勝浦市消防団					1		4	1	1
鴨川市消防団									
印西市消防団					2				
白井市消防団									
南房総市消防団									
匝瑳市消防団									
山武市消防団					2	3		1	
いすみ市消防団			2	2	2		1	1	2
酒々井町消防団					2				
神崎町消防団									1
大網白里市消防団									1
九十九里町消防団									2
横芝光町消防団									
芝山町消防団									
大多喜町消防団									
御宿町消防団					2				
鋸南町消防団									
八街市消防団									
合計	5	3	10	14	45	30	23	17	29

第2 消防職員に対する教育訓練

1 初任教育

(1) 教育人員、日数等

区分 期別	教 育				担当講師の延教育時間数		
	期 間	人員	実日数	時間数	専任	外来	計
第171期	令和 3年 4月 7日～ 令和 3年 9月17日	135	111	800	4,341	683	5,024
第172期	令和 3年10月 4日～ 令和 4年 3月14日	126	111	800	4,442	663	5,105
計		261	222	1,600	8,783	1,346	10,129

## (2) 初任科講師及び担当時間数

科目		区分	教育担当講師			単位時間数		
			所 属	職 名	氏 名	171期	172期	計
倫 理		消 防 学 校	校 長	山 口 幸 宏		1	1	2
			副 校 長	小 山 庸 男		2	2	4
情 操	講 話	防 災 危 機 管 理 部 香取広域市町村圏事務組合 消 防 本 部	防 災 危 機 管 理 部 長	生 稻 芳 博		1	1	2
			消 防 長	本 宮 弘 資		2	-	2
			消 防 長	齊 藤 信 行		-	2	2
			医 師	平 田 豊 明		2	2	4
			副 センター 長	角 南 祐 子		2	2	4
法 学 基 礎		消 防 学 校	副 主 査	高 橋 直 也		10	10	20
消 防 法		消 防 学 校	副 主 査	上 之 園 友 輔		9	9	18
消 防 組 織 制 度		消 防 学 校	教 務 第 一 課 長	中 野 満 喜		7	7	14
服 務 と 勤 務	地 方 公 務 員 制 度 消 防 実 務 接 遇 ・ 文 書 実 務 公 務 災 害 事 故 防 止 人 権 消 防 英 語 情 報 公 開 個 人 情 報 保 護	消 防 学 校	主 査	白 石 靖 典		8	8	16
			教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭		3	3	6
			総 務 課 長	嶋 野 孝 義		1	1	2
			主 査	青 柳 真 澄		1	1	2
			主 任	池 田 陽		1	1	2
			副 主 幹	浅 野 陽 子		1	1	2
			教 諭	谷 本 み か		5	5	10
			副 主 査	高 橋 直 也		1	1	2
消 防 理 化	電 気	総 務 部 管 財 課	副 主 査	大 滝 悠 太		4	-	4
			主 査	工 藤 哲 弘		-	4	4
広 予 報 防	火 災 予 防 消 防 広 報	消 防 学 校	副 主 幹	綾 部 健		15	15	30
			副 主 査	杉 山 忍		2	2	4
危 険 物		木 更 津 市 消 防 本 部	消 防 司 令 補	小 林 宏 行		11	11	22
消 防 用 設 備		消 防 学 校	主 査	小 島 大 輔		11	11	22
査 察		消 防 学 校	主 査	有 田 辰 哉		21	21	42
建 築		船 橋 市 消 防 局	消 防 士 長	佐 々 木 隆 紀		9	9	18
安 全 管 理		消 防 学 校	副 主 幹	石 井 祥 仁		8	8	16
			副 主 査	猪 狩 忠 昭		4	4	8
特 集 災 害 と 保 安	高 圧 ガ ス	防 災 危 機 管 理 部 産 業 保 安 課	副 主 査	福 井 潤 一		2	-	2
			副 主 査	大 内 隆 寛		-	2	2
	放 射 線	国 立 研 究 開 発 法 人 量 子 科 学 技 術 研 究 開 発 機 構 量 子 生 命 ・ 医 学 部 門 技 術 安 全 部 放 射 線 安 全 課	技 術 安 全 部 長	宮 後 法 博		-	3	3
			放 射 線 安 全 課 専 門 業 務 員	菅 原 幸 喜		3	-	3
			放 射 線 安 全 課 主 任 技 術 員	菅 野 孝 行		3	3	6
		放 射 線 安 全 課 技 術 員	中 川 大 護		3	3	6	

科目	区分	教育担当講師			単位時間数			
		所 属	職 名	氏 名	171期	172期	計	
特集災害と保安	放射線	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子生命・医学部門技術安全部放射線安全課	放射線安全課員	岩谷航平	3	3	6	
	毒劇物	消防学校	副主査	杉山忍	1	1	2	
火災防ぎよ		消防学校	副主査	澤田幸司	9	9	18	
			副主査	関雅仁	8	6	14	
			副主査	木曾俊介	7	9	16	
火災調査		消防学校	主査	飯嶋竜平	14	14	28	
防 災	災害対策 地震対策	防災危機管理部課 防災政策課	副主査	那須一裕	2	2	4	
	防 災	香取広域市町村圏事務組合 消防本部	警防救急課長	靱山広宣	3	-	3	
			警防課長	岩瀬実	-	3	3	
			副主査	杉山忍	2	2	4	
	気象と災害	一般財団法人 日気象協会	専任主任技師	平松信昭	3	3	6	
	水災防ぎよ		柏市消防局	消防司令補	平原孝幸	7	-	7
				消防司令補	吉野史幸	-	7	7
				消防司令補	湯浅文也	-	7	7
				消防士長	後藤祐輔	7	-	7
			成田市消防本部	消防司令	飯島哲也	7	7	14
				消防司令補	東善幸	7	7	14
消防司令補				宮本吉之	7	7	14	
香取広域市町村圏 事務組合消防本部	消防司令補	内田茂	7	7	14			
	主査	飯嶋竜平	7	3	10			
救 急	救急訓練	君津市消防本部	消防司令補	堀大輔	39	39	78	
			消防司令補	小林大介	39	-	39	
			消防司令補	鴫田雄輝	-	39	39	
			消防士長	寺井康大	39	-	39	
			消防士長	上杉隼人	-	39	39	
			消防士長	大津誠栄	39	39	78	
		旭市消防本部	消防司令補	渡邊聡	39	39	78	
			消防司令補	高木大造	39	39	78	
			消防司令補	合六瞬	39	39	78	
			消防士長	近藤祐介	39	39	78	
			主査	飯嶋竜平	25	35	60	
			主査	有田辰哉	32	0	32	
	消防学校	副主査	秋葉麻衣	39	39	78		
		副主査	澤田幸司	32	39	71		
		副主査	相川徳彦	35	32	67		
		副主査	関雅仁	39	39	78		
		副主査	木曾俊介	32	39	71		
		主任看護師	小林英貴	4	4	8		
	救急(解剖生理)	救急医療センター	技士	小川一樹	4	4	8	
			副主査	村山成吾	3	3	6	
救急総論		消防学校	副主査	秋葉麻衣	3	3	6	

科目	区分	教育担当講師			単位時間数			
		所 属	職 名	氏 名	171期	172期	計	
消防機械・ポンプ		消防学校	副主査	相川徳彦	9	9	18	
訓練礼式	消防学校		副校長	小山庸男	17	-	17	
			教務第一課長	中野満喜	26	39	65	
			主査	飯嶋竜平	43	46	89	
			主査	有田辰哉	43	46	89	
			副主査	秋葉麻衣	36	46	82	
			副主査	澤田幸司	43	46	89	
			副主査	相川徳彦	4	46	50	
			副主査	関雅仁	43	29	72	
消防活動訓練 (ホースカー) (吸放水・フォグガン) (ポンプ車操法)	消防学校		教務第一課長	中野満喜	102	88	190	
			主査	飯嶋竜平	102	88	190	
			主査	有田辰哉	102	88	190	
			副主査	秋葉麻衣	98	88	186	
			副主査	澤田幸司	102	88	190	
			副主査	相川徳彦	98	88	186	
			副主査	関雅仁	95	88	183	
			副主査	木曾俊介	98	51	149	
救助訓練 (総論) (基本結索) (救助訓練)	銚子市消防本部	消防士長	鎌形成一	31	-	31		
	柏市消防局	消防司令補	伊藤新太郎	31	-	31		
	八千代市消防本部	消防士長	岸嵩将	31	-	31		
	夷隅郡市広域市町村 事務組合消防本部	消防士長	山崎陽平	31	-	31		
	船橋市消防局	消防司令補	宇賀田修司	-	31	31		
	市川市市消防局	消防司令補	山崎寛実	-	31	31		
	安房郡市広域市町村 事務組合消防本部	消防士長	福原崇之	-	31	31		
	香取広域市町村 事務組合消防本部	消防士長	佐藤俊之	-	31	31		
	消防学校			副校長	小山庸男	4	-	4
				教務第一課長	中野満喜	27	42	69
				主査	飯嶋竜平	31	45	76
				主査	有田辰哉	31	4	35
				副主査	秋葉麻衣	31	45	76
				副主査	澤田幸司	31	45	76
副主査				相川徳彦	0	45	45	
副主査				関雅仁	31	45	76	
機器取扱訓練 (呼吸器、梯子、照明) (避難器具、特殊災害器具) (破壊器具、油圧器具)	消防学校		教務第一課長	中野満喜	65	65	130	
			主査	飯嶋竜平	65	65	130	
			主査	有田辰哉	65	65	130	
			副主査	秋葉麻衣	65	65	130	
			副主査	澤田幸司	65	65	130	
			副主査	相川徳彦	4	65	69	
			副主査	関雅仁	65	65	130	
			副主査	木曾俊介	65	0	65	

科目	区分	教育担当講師			単位時間数		
		所 属	職 名	氏 名	171期	172期	計
応用訓練 (総合訓練) (建物進入、建物火災) (発見救出、耐煙行動)		銚子市消防本部	消防士長	鎌形成一	66	-	66
		柏市消防局	消防司令補	伊藤新太郎	66	-	66
		八千代市消防本部	消防士長	岸 嵩 将	66	-	66
		夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防士長	山崎陽平	66	-	66
		船橋市消防局	消防司令補	宇賀田修司	-	66	66
		市川市消防局	消防司令補	山崎寛実	-	66	66
		安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防士長	福原崇之	-	66	66
		香取広域市町村圏事務組合消防本部	消防士長	佐藤俊之	-	66	66
		消 防 学 校	教務第一課長	中野課長	113	120	233
			主 査	飯嶋教官	113	113	226
			主 査	有田教官	113	70	183
			副 主 査	秋葉教官	113	120	233
			副 主 査	澤田教官	113	120	233
			副 主 査	相川教官	113	120	233
			副 主 査	関 教 官	113	120	233
体 育	測定大会 力伝大訓練 歩衣錬泳成 徒着体	消 防 学 校	校 長	山口幸宏	7	7	14
			副 校 長	小山庸男	8	-	8
			教務第一課長	中野満喜	30	48	78
			主 査	飯嶋竜平	46	48	94
			主 査	有田辰哉	46	21	67
			副 主 査	秋葉麻衣	46	48	94
			副 主 査	高橋直也	14	48	62
			副 主 査	澤田幸司	46	48	94
			副 主 査	相川徳彦	22	48	70
			副 主 査	関 雅 仁	39	40	79
トレーニング理論	東京医科歯科大学	教 授	水野哲也	3	-	3	
	株式会社タフジャパン	代表取締役	鎌田修広	-	3	3	
剣 道	市川市消防局	消防司令	井上秀吾	12	12	24	
		消防司令	山田洋次	12	-	12	
		消防司令	土屋俊憲	-	12	12	
	君津市消防本部	消防司令長	熊谷光宏	12	12	24	
		消防士長	大野翔平	12	12	24	
	安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防司令補	川名貴利	12	-	12	
		消防司令補	渡邊達弘	8	-	8	
	消 防 学 校	副 主 幹	綾部健	12	12	24	
副 主 査		杉山忍	12	12	24		
無 線 講 習	一般社団法人 無線従事者養成センター	講 師	中村治幸	7	7	14	
		講 師	橘 省 二	7	7	14	
		講 師	請関定志	7	7	14	
		講 師	福島栄	7	7	14	
		講 師	坂本悟	7	7	14	
		講 師	小熊茂	7	7	14	

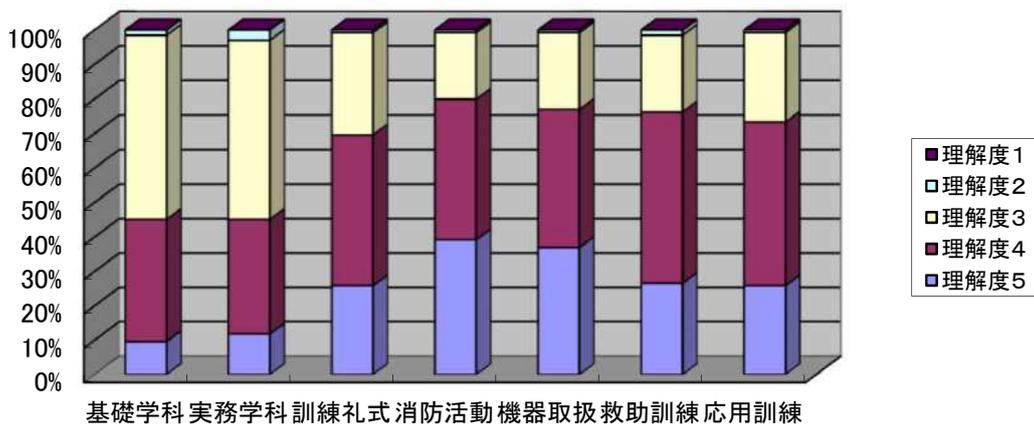
科目	区分	教育担当講師			単位時間数		
		所 属	職 名	氏 名	171期	172期	計
実務研修	視 察 研 修	消 防 学 校	校 長	山口幸宏	14	14	28
			教務第一課長	中野満喜	14	14	28
			主 査	飯嶋竜平	14	14	28
			主 査	有田辰哉	14	14	28
			副 主 査	秋葉麻衣	14	14	28
			副 主 査	澤田幸司	14	14	28
			副 主 査	相川徳彦	14	14	28
			副 主 査	関 雅 仁	14	14	28
			副 主 査	木曾俊介	14	14	28
			所 属 研 修	各 消 防 本 部			14
効 果 測 定	千葉経済大学附属高等学校 消防学校 ※消防活動訓練、機器取扱、 救急訓練、救助訓練	教 諭	谷本みか	1	1	2	
		教務第一課長	中野満喜	1	1	2	
		主 査	飯嶋竜平	1	1	2	
		主 査	有田辰哉	1	1	2	
		副 主 査	高橋直也	5	5	10	
		副 主 査	澤田幸司	1	1	2	
		副 主 査	相川徳彦	1	1	2	
		副 主 幹	石井祥仁	1	1	2	
		副 主 幹	綾部 健	1	1	2	
		主 査	小島大輔	1	1	2	
		主 査	白石靖典	1	1	2	
		副 主 査	上之園友輔	1	1	2	
その他 (入校式) (オリエンテーション) (ホームルーム) (環境整備) (実科査閲) (卒業式)	消防学校	校 長	山口幸宏	10	13	23	
		副 校 長	小山庸男	10	10	20	
		総務課長	嶋野孝義	7	10	17	
		教務第一課長	中野満喜	7	24	31	
		主 査	飯嶋竜平	46	58	104	
		主 査	有田辰哉	46	51	97	
		副 主 査	秋葉麻衣	46	58	104	
		副 主 査	高橋直也	38	44	82	
		副 主 査	澤田幸司	46	58	104	
		副 主 査	相川徳彦	46	58	104	
		副 主 査	関 雅 仁	39	45	84	
		副 主 査	木曾俊介	46	55	101	
		教務第二課長	家村千昭	10	10	20	
		副 主 幹	石井祥仁	10	10	20	
		副 主 幹	綾部 健	10	10	20	
		主 査	小島大輔	10	10	20	
		主 査	白石靖典	10	7	17	
		副 主 査	上之園友輔	10	10	20	
		副 主 査	猪狩忠昭	10	10	20	
		副 主 査	村山成吾	10	10	20	
副 主 査	杉山 忍	10	10	20			
副 主 査	中村和幸	10	10	20			

### (3)教育訓練アンケート結果

5＝極めて良く理解できた(100%超)、4＝理解できた(100%)、3＝概ね理解できた(80%以上100%未満)、  
2＝あまり理解できなかった(50%以上80%未満)、1＝理解できなかった(50%未満)

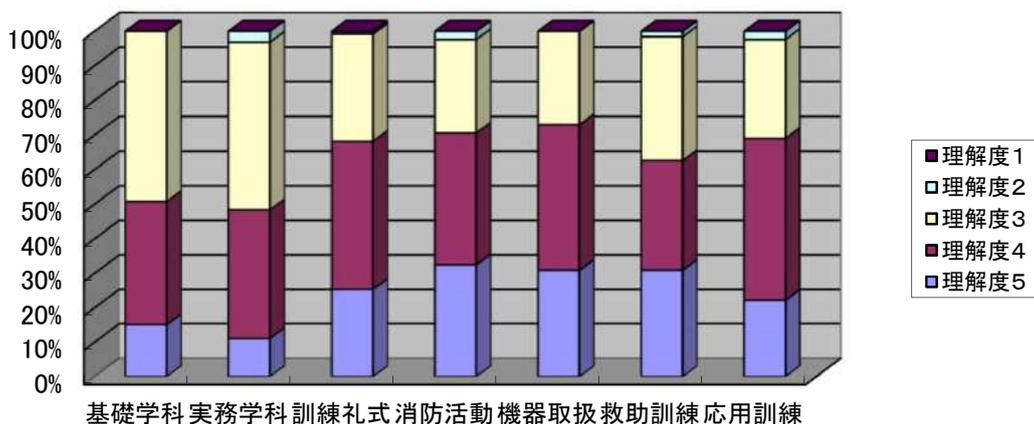
#### 初任科171期

	基礎学科	実務学科	訓練礼式	消防活動	機器取扱	救助訓練	応用訓練
理解度5	13	16	35	53	50	36	35
理解度4	48	45	59	55	54	67	64
理解度3	72	70	40	26	30	30	35
理解度2	2	4	1	1	1	2	1
理解度1	0	0	0	0	0	0	0



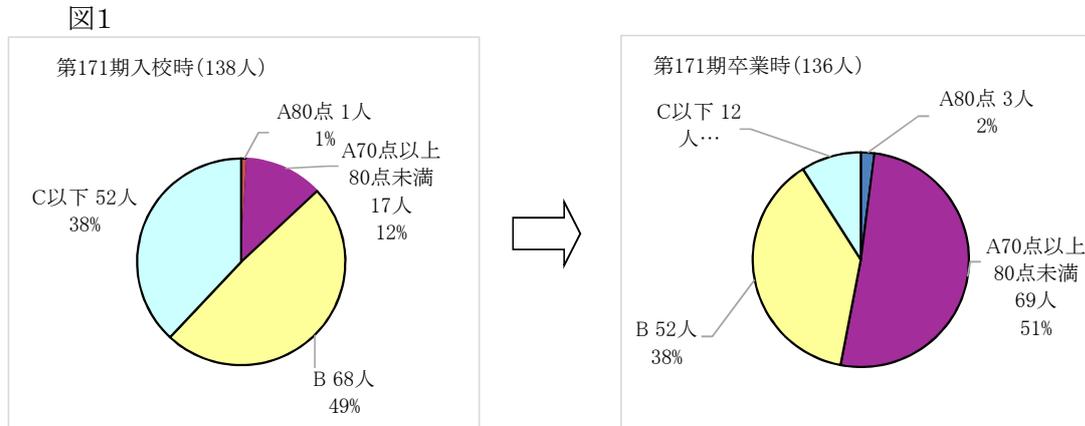
#### 初任科172期

	基礎学科	実務学科	訓練礼式	消防活動	機器取扱	救助訓練	応用訓練
理解度5	19	14	32	41	39	39	28
理解度4	45	47	54	48	53	40	59
理解度3	62	61	39	34	34	45	36
理解度2	0	4	0	3	0	2	3
理解度1	0	0	1	0	0	0	0

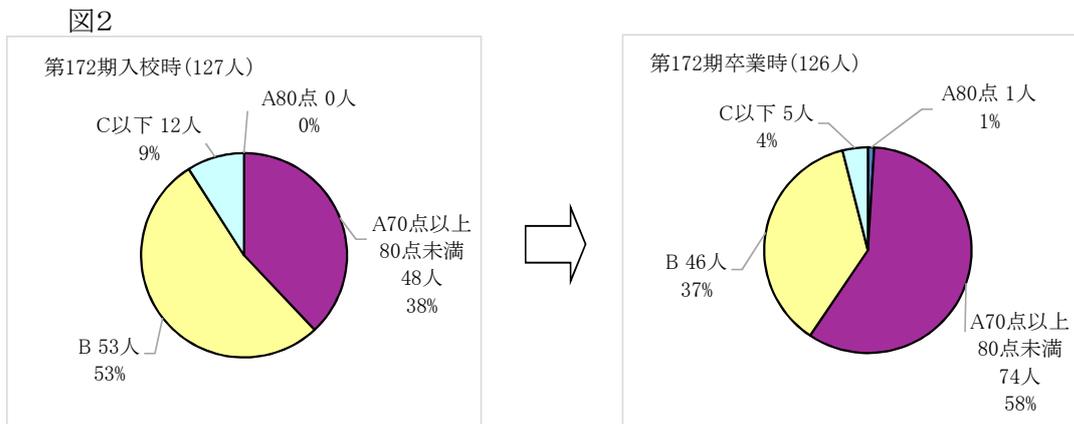


(4) 体力測定結果

体力測定は、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・1500m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・懸垂の得点を集計したものにより評定した。



測定結果は、図1のとおり、A70点以上が入校時18人から卒業時72人となり、体力の向上が図られた。



測定結果は、図2のとおり、A70点以上が入校時48人から卒業時75人となり、体力の向上が図られた。

体力測定項目別得点表

男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	1,500m走	20mシャトルラン	立ち幅跳び	懸垂
10	62kg以上	33回以上	61cm以上	60回以上	4.59以内	95回以上	260cm以上	20回以上
9	58-61	30-32	56-60	57-59	5.00-5.16	81-94	248-259	18-19
8	54-57	27-29	51-55	53-56	5.17-5.33	67-80	236-247	16-17
7	50-53	24-26	47-50	49-52	5.34-5.55	54-66	223-235	14-15
6	47-49	21-23	43-46	45-48	5.56-6.22	43-53	210-222	12-13
5	44-46	18-20	38-42	41-44	6.23-6.50	32-42	195-209	10-11
4	41-43	15-17	33-37	36-40	6.51-7.30	24-31	180-194	8-9
3	37-40	12-14	27-32	31-35	7.31-8.19	18-23	162-179	6-7
2	32-36	9-11	21-26	24-30	8.20-9.20	12-17	143-161	4-5
1	31kg以下	8回以下	20cm以下	23回以下	9.21以上	11回以下	142cm以下	3回以下

女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	1,500m走	20mシャトルラン	立ち幅跳び	懸垂
10	39kg以上	25回以上	60cm以上	52回以上	5.44以内	62回以上	202cm以上	10回以上
9	36-38	23-24	56-59	49-51	5.45-6.03	50-61	191-201	9
8	34-35	20-22	52-55	46-48	6.04-6.29	41-49	180-190	8
7	31-33	18-19	48-51	43-45	6.30-6.56	32-40	170-179	7
6	29-30	15-17	44-47	40-42	6.57-7.24	25-31	158-169	6
5	26-28	12-14	40-43	36-39	7.25-7.57	19-24	143-157	5
4	24-25	9-11	36-39	32-35	7.58-8.33	14-18	128-142	4
3	21-23	5-8	31-35	27-31	8.34-9.21	10-13	113-127	3
2	19-20	1-4	25-30	20-26	9.22-10.26	8-9	98-112	2
1	18kg以下	0回以下	24cm以下	19回以下	10.27以上	7回以下	97cm以下	1回以下

体力測定総合評価基準表(80点満点)

A	70-80
B	60-69
C	46-59
D	40-45
E	39点以下

(5) 資格取得状況

- 第3級陸上特殊無線技士については、第171期で受験者133名全員が、第172期で受験者122名全員が資格を取得した。

区 分 資 格	第171期			第172期		
	受 験 者	資格取得者	資格取得率	受 験 者	資格取得者	資格取得率
第3級陸上特殊無線技士	133	133	100.0%	122	122	100.0%
赤十字水上安全法救助員 I	—	—	—	—	—	—

※ 第171期については、入校者137名のうち4名が入校時に第3級以上の陸上特殊無線技士の資格を既に有しており、受験者から除かれている。

※ 第172期については、入校者126名のうち4名が入校時に第3級以上の陸上特殊無線技士の資格を既に有しており、受験者から除かれている。

※ 赤十字水上安全法救助員 I の資格を取得するための養成講習については、新型コロナウイルス感染症の影響により、受講しなかった。

(6) 科目別教育訓練実績

科 目	主 な 内 容
法 学 基 礎	法治主義の原則、法の分類、法の効力、法の適用と解釈、行政法
消 防 法	消防法規の体系、消防作用の根拠
消防組織制度	地方自治の意義及び地方公共団体の種類、消防の組織及び消防責任、消防制度の沿革及び消防の任務
地方公務員法	地方公務員制度の理念と内容、公務員としての職責、義務、規律等
消 防 英 語	日常生活における英会話・消防業務に関する英会話の基礎知識
消 防 理 化 学	電気、燃焼と消火の基礎知識
火 災 予 防	防火管理の意義、防火管理制度・統括防火管理制度、消防計画の作成、防火対象物定期点検制度
危 険 物	消防危険物、危険物施設の基礎知識
消 防 用 設 備	消防用設備の基礎知識
査 察	消防査察の意義、目的、査察要領
建 築	建築法令、建築構造、建築規制
安 全 管 理	日常業務及び災害現場における安全管理の知識、熱中症対策、惨事ストレス
火 災 防 ぎ よ	火災の概念、火災防ぎよの意義、火災防ぎよ活動
火 災 調 査	火災原因調査に必要な基礎知識、調査技術
消防機械・消防ポンプ	消防機械器具の基礎知識、消防ポンプの構造、機能と水力学の基礎知識
訓 練 礼 式	規律正しく行動ができる能力、部隊行動における規律能力
機器取扱訓練	消防機器の概要、各種資器材の諸元・性能・取扱要領・保守管理要領等
消防活動訓練	訓練を通じての基本的な安全管理、活動の知識及び行動
救 急	概要、人体知識、応急処置法、応急手当普及啓発等
消防活動応用訓練	ホース延長、内部進入、応急はしご、濃煙内救助、総合訓練等
体 力 調 査	基礎的な体力の測定

(7) 学歴別入校人員・平均年齢

項目 期	所属数	入校人数	学歴別人数		平均年齢	平均消防歴
第171期	29	135 (12)	大学卒	56	23.7歳	1年2か月
			短期大学卒	1		
			専門学校卒	38		
			高等学校卒	40		
第172期	26	126 (7)	大学卒	44	23.3歳	1年2か月
			短期大学卒	0		
			専門学校卒	50		
			高等学校卒	32		

( ) は内数で女性消防職員の数

## 2 専科教育

### (1)教育人員、日数等

科別	人員、日数	教 育			担当講師の延べ教育時間数		
	期 間	人員	実日数	時間数	専任	外来	計
警 防 科 第18期	令和4年2月24日(木)～ 令和4年3月10日(木)	6	11	75	431	-	431
特 殊 災 害 科 第17期	令和3年12月6日(月)～ 令和3年12月17日(金)	26	10	68	28	188	216
予 防 査 察 科 第16期	令和3年7月14日(水)～ 令和3年7月30日(金)	34	11	75	65	70	135
危 険 物 科 第19期	令和3年8月19日(木)～ 令和3年8月26日(木)	8	6	40	39	29	68
火 災 調 査 科 第26期	令和3年11月1日(月)～ 令和3年11月18日(金)	38	13	89	166	345	511
救 急 科 第48期	令和3年4月26日(月)～ 令和3年6月25日(金)	84	41	285	458	1,054	1,512
救 急 科 第49期	令和4年1月11日(火)～ 令和4年3月10日(木)	85	41	285	310	1,063	1,373
救 助 科 第50期	令和3年9月21日(火)～ 令和3年10月22日(金)	55	23	159	410	912	1,322
計		336	156	1,076	1,907	3,661	5,568

## (2) 警防科第18期講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
講話	消防学校	副校長	小山庸男	1	
警防行政の現状と課題	消防学校	主査	小島大輔	3	
警防対策	消防学校	主査	小島大輔	3	
		主査	白石靖典	1	
		副主査	上之園友輔	4	
		副主査	杉山忍	1	
消防戦術と安全管理	消防学校	教務第二課長	家村千昭	7	
		副主幹	石井祥仁	13	
		副主幹	綾部健	13	
		主査	小島大輔	13	
		主査	白石靖典	13	
		副主査	上之園友輔	13	
		副主査	猪狩忠昭	13	
		副主査	村山成吾	13	
		副主査	杉山忍	13	
		副主査	中村和幸	13	
図上訓練	消防学校	副主幹	石井祥仁	14	
		副主幹	綾部健	14	
		主査	小島大輔	14	
		主査	白石靖典	14	
		副主査	上之園友輔	14	
		副主査	猪狩忠昭	14	
		副主査	杉山忍	14	
実技訓練	消防学校	副主幹	石井祥仁	21	
		副主幹	綾部健	21	
		主査	小島大輔	21	
		主査	白石靖典	21	
		副主査	上之園友輔	21	
		副主査	猪狩忠昭	21	
		副主査	杉山忍	21	
防災	消防学校	主査	小島大輔	2	
		副主査	上之園友輔	2	
健康管理	消防学校	教務第二課長	家村千昭	1	
		副主査	村山成吾	2	
効果測定	消防学校	主査	小島大輔	1	
		副主査	上之園友輔	1	
事例研究	消防学校	主査	小島大輔	6	
		副主査	上之園友輔	6	
行事その他 (入校式・修了式) (内務規律) (環境整備)	消防学校	校長	山口幸宏	2	
		副校長	小山庸男	2	
		教務第一課長	中野満喜	2	
		教務第二課長	家村千昭	2	
		副主幹	石井祥仁	2	
		副主幹	綾部健	2	
		主査	小島大輔	3	
		主査	白石靖典	2	
		副主査	上之園友輔	3	
		副主査	猪狩忠昭	2	
		副主査	村山成吾	2	
副主査	杉山忍	2			
副主査	中村和幸	2			

(3) 特殊災害科第17期講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
講話		消防学校	副校長	小山庸男	1
特殊災害の概論	東京消防庁 第九消防方面本部		消防司令補	小巻義幸	2
			消防士長	高橋尚基	2
			消防士長	佐藤健太	2
危険性物質等に係る 基礎知識及び 関係法令		国立研究開発法人量子科学技術研究 開発機構量子生命医学部門放射線 医学研究所放射線緊急事態対応部	被ばく医療 グループリーダー	富永隆子	4
		千葉県警察本部 警備部警備課	警部	小笠原靖名 他 <sup>2</sup>	2
		衛生研究所	細菌研究室 主任上席研究員	菊池俊	1
			ウイルス・昆虫 医学研究室長	佐藤重紀	1
			医薬品研究室 室長	西村真紀	1
		防災危機管理部 産業保安課	副主査	松岡弘己	1
			副主査	藤田智紀	1
	防災危機管理部消防課	班長	小高健二	1	
特殊災害に対する 消防活動要領	東京消防庁 第九消防方面本部		消防司令補	小巻義幸	3
			消防士長	高橋尚基	3
			消防士長	佐藤健太	3
	千葉市消防局 花見川消防署 特別救助隊		消防司令	金坂裕樹	7
			消防司令補	小林純也	7
			消防司令補	加藤謙治	7
			消防士長	鈴木亮	7
			消防士長	鈴江忠弘	7
			消防士	池田篤紀	7
			消防士	立花大	7
		佐倉市八街市酒々井町 消防組合消防本部	消防司令	井口英高	20
		船橋市消防局	消防司令	宇都宮啓	20
		千葉市消防局	消防司令補	小林純也	20

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
特殊災害に対する消防活動要領	山武郡市広域行政組合 消防本部	消防司令補	野口耕輔	20	
		(株)エス・ティ・ジャパン 危機管理製品部	次長	時田健一	4
		営業2課長	山本壮一郎	4	
特殊災害における安全管理	消防学校	副主査	猪狩忠昭	1	
		株式会社重松製作所 市川市消防局	主任研究員 消防司令	濱田昌彦 山崎雷太	4 4
図上訓練	東京消防庁 第九消防方面本部	消防司令補	小巻義幸	2	
		消防士長	高橋尚基	2	
		消防士長	佐藤健太	2	
	(株)エス・ティ・ジャパン 危機管理製品部	次長	時田健一	3	
		営業2課長	山本壮一郎	3	
消防学校	副主査	猪狩忠昭	1		
効果測定	消防学校	副主査	猪狩忠昭	1	
行事その他 (入校式・修了式)	消防学校	校長	山口幸宏	2	
		副校長	小山庸男	2	
		教務第一課長	中野満喜	1	
		教務第二課長	家村千昭	2	
		副主幹	石井祥仁	2	
		副主幹	綾部健	1	
		主査	小島大輔	2	
		主査	白石靖典	2	
		副主査	上之園友輔	2	
		副主査	猪狩忠昭	2	
		副主査	村山成吾	2	
		副主査	杉山忍	2	
副主査	中村和幸	2			

(4) 予防査察科第16期講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
予防査察行政の現状と課題		消防学校	主査	有田辰哉	3
消防同意		市川市消防局	消防司令	足立信一	7
査察		県土整備部 建築指導課	副課長	堀江政司	3
		船橋市消防局	消防司令	池戸伸一	7
		野田市消防本部	消防司令補	勝田寛之	3
		日本消防検定協会	課長補佐	佐藤まゆ	3
		松戸市消防局	消防司令補	千葉了子	7
		消防学校	主査	有田辰哉	1
危険物規制		袖ヶ浦市消防本部	消防司令	古賀則行	7
違反処理		千葉市消防局	消防司令	中本周吾	7
		柏市消防局	消防司令	谷口嗣	3
		印西地区消防組合 消防本部	消防司令	関根孝文	3
			消防司令補	北沢陽平	3
査察実習		佐倉市八街市酒々井町 消防組合消防本部	消防司令	川村淳司	3
			消防司令補	渡邊洋介	3
		印西地区消防組合 消防本部	消防司令	関根孝文	4
			消防司令補	北沢陽平	4
		消防学校	主査	白石靖典	7
実務研究課題討議		船橋市消防局	消防司令	池戸伸一	3
		消防学校	主査	白石靖典	6
効果測定		消防学校	主査	白石靖典	2
行事その他 (入校式・修了式)		消防学校	校長	山口幸宏	2
			副校長	小山庸男	2
			教務第一課長	中野満喜	2
			教務第二課長	家村千昭	2
			副主幹	石井祥仁	4
			副主幹	綾部健	4
			主査	小島大輔	4
			主査	白石靖典	6
			副主査	上之園友輔	4
			副主査	猪狩忠昭	4
			副主査	村山成吾	4
			副主査	杉山忍	4
	副主査	中村和幸	4		

## (5) 危険物科第19期講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
危険物行政の現状と課題		君津市消防本部	消防司令	石井聖稔	3
危険物化学		君津市消防本部	消防司令	石井聖稔	8
危険物規制		市川市消防局	消防司令長	金子典義	14
		消防学校	副主幹	綾部健	4
			副主査	杉山忍	4
事例研究		君津市消防本部	消防司令	石井聖稔	4
		消防学校	副主査	杉山忍	2
効果測定		消防学校	副主査	杉山忍	1
行事その他 (入校式・修了式)		消防学校	校長	山口幸宏	2
			副校長	小山庸男	2
			教務第一課長	中野満喜	2
			教務第二課長	家村千昭	2
			副主幹	石井祥仁	2
			副主幹	綾部健	2
			主査	小島大輔	2
			主査	白石靖典	2
			副主査	上之園友輔	2
			副主査	猪狩忠昭	2
			副主査	村山成吾	2
			副主査	杉山忍	4
副主査	中村和幸	2			

## (6) 火災調査科第26期講師及び担当時間数

区分	教育担当講師			時間数	
	所 属	職 名	氏 名		
講 話	消 防 学 校	副 校 長	小 山 庸 男	1	
原因調査関係法規	松 戸 市 消 防 局	消 防 司 令 補	福 手 正 憲	2	
	消 防 学 校	副 主 査	上 之 園 友 輔	2	
原 因 調 査	千 葉 市 消 防 局	消 防 司 令	下 田 直 史	4	
		消 防 司 令	加 藤 浩 二 郎	3	
		消 防 士 長	有 賀 丈 朗	7	
		消 防 士 長	布 施 圭 将	3	
		消 防 士 長	熊 谷 慎 悟	7	
	佐 倉 市 八 街 市 酒 々 井 町 消 防 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令	樋 田 一 也	3	
		消 防 司 令 補	渡 辺 有 為	3	
		消 防 士 長	家 村 優	3	
	東 京 消 防 庁	消 防 司 令 補	山 崎 直 樹	2	
	船 橋 市 消 防 局	消 防 司 令	寫 津 晃 二	4	
		消 防 司 令 補	高 山 智	4	
		消 防 士	松 本 健 志 郎	4	
		消 防 士	山 崎 大 地	4	
	松 戸 市 消 防 局	消 防 司 令	柴 田 智 崇	4	
		消 防 司 令 補	福 手 正 憲	4	
		消 防 士 長	工 藤 優 季	4	
	東 株 千 京 式 業 ガ 会 支 ス 社 社	副 支 社 長	山 内 義 実	3	
		講 師	大 堀 敦 男	3	
		講 師 補 佐	鈴 木 博 司	3	
		東 部 ガ ス ラ イ ト 2 4		佐 藤 勇	3
				前 田 直 之	3
	消 防 学 校	主 査	白 石 靖 典	16	
		副 主 査	上 之 園 友 輔	18	
損 害 調 査	千 葉 市 消 防 局	消 防 司 令 補	氏 家 一 樹	5	
鑑 定	警 察 本 部 科 学 捜 査 研 究 所	物 理 科 科 長	佐 藤 英 樹	2	
調 査 実 習	千 葉 市 消 防 局	消 防 司 令	高 橋 寧	4	
		消 防 司 令	有 賀 丈 朗	22	
		消 防 司 令 補	石 本 大 起	18	
		消 防 士 長	熊 谷 慎 悟	15	
		消 防 士 長	酒 井 政 紀	15	
	船 橋 市 消 防 局	消 防 司 令	寫 津 晃 二	18	
		消 防 士 長	本 砂 涼 悟	7	
		消 防 士	栗 原 龍 希	7	
	松 戸 市 消 防 局	消 防 司 令 補	福 手 正 憲	14	
		消 防 士 長	工 藤 優 季	14	
	佐 倉 市 八 街 市 酒 々 井 町 消 防 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令	樋 田 一 也	14	
		消 防 司 令 補	渡 辺 有 為	7	
		消 防 士 長	家 村 優	7	
	柏 市 消 防 局	消 防 司 令	五 ノ 井 貴 祐	14	

区分 科目	教育担当講師			時間数
	所 属	職 名	氏 名	
調 査 実 習	君 津 市 消 防 本 部	消 防 司 令	石 井 聖 稔	14
	安 房 郡 市 広 域 市 町 村 圏 事 務 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令	大 澤 和 宏	14
	印 西 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令 補	井 原 基 之	14
	浦 安 市 消 防 本 部	消 防 士 長	竹 中 敦 一	14
	消 防 学 校	主 査	白 石 靖 典	25
		副 主 査	上 之 園 友 輔	22
調 査 書 類	船 橋 市 消 防 局	消 防 司 令	鳶 津 晃 二	3
	消 防 学 校	主 査	白 石 靖 典	12
		副 主 査	上 之 園 友 輔	12
事 例 研 究	千 葉 市 消 防 局	消 防 司 令	有 賀 丈 朗	5
	佐 倉 市 八 街 市 酒 々 井 町 消 防 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令	樋 田 一 也	5
	君 津 市 消 防 本 部	消 防 司 令	石 井 聖 稔	5
	印 西 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令 補	井 原 基 之	5
	消 防 学 校	主 査	白 石 靖 典	5
		副 主 査	上 之 園 友 輔	5
効 果 測 定 (プレテスト含む)	消 防 学 校	主 査	白 石 靖 典	2
		副 主 査	上 之 園 友 輔	2
行 事 そ の 他 (入校式・修了式)	消 防 学 校	校 長	山 口 幸 宏	2
		副 校 長	小 山 庸 男	2
		教 務 第 一 課 長	中 野 満 喜	2
行 事 そ の 他 (入校式・修了式)	消 防 学 校	教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	2
		副 主 幹	石 井 祥 仁	4
		副 主 幹	綾 部 健	4
		主 査	小 島 大 輔	4
		主 査	白 石 靖 典	4
		副 主 査	上 之 園 友 輔	4
		副 主 査	猪 狩 忠 昭	4
		副 主 査	村 山 成 吾	4
		副 主 査	杉 山 忍	4
		副 主 査	中 村 和 彦	4

## (7)救急科第48期講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
救急業務及び 救急医学の基礎	千葉県がんセンター	発がん制御研究部長	筆宝義隆	4	
		実験動物研究部長	若林雄一	4	
		呼吸器外科主任医長	松井由紀子	3	
	国保旭中央病院	副院長	神田順二	7	
		副院長	中津裕臣	4	
	亀田総合病院	救命救急センター長	不動寺純明	3	
	日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 講師	齋藤伸行	2	
	ちば北西部消防指令 センター	消防司令	小嶋忠則	3	
	日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 医局長	八木貴典	2	
	消防大学校	助教授	宮本圭	3	
消防学校	副主査	村山成吾	2		
応急処置の総論	千葉大学医学部附属病院	集中治療部部長	安部隆三	2	
	千葉県救急医療センター	外傷治療科 主任医長	潮真也	5	
		脳血管治療科部長	山内利宏	3	
	帝京大学ちば 総合医療センター	救命救急センター 特任教授	森脇龍太郎	4	
	国保旭中央病院	救急救命科部長	内野正人	4	
	東京女子医科大学 八千代医療センター	救急科集中治療部 准教授診療科長	貞広智仁	3	
	国保直営総合病院 君津中央病院	救命救急 センター長	北村伸哉	3	
	日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 講師	本村友一	3	
成田赤十字病院	救命救急センター 副センター長	立石順久	4		
応急処置の総論	船橋市消防局	消防司令補	手塚達也	77	

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
応急処置の総論	木更津市消防本部 松戸市消防局 成田市消防本部 旭市消防本部 習志野市消防本部 流山市消防本部 富里市消防本部 長生郡市広域市町村圏 組合消防本部 印西地区消防組合 消防本部	木更津市消防本部	消防士長	河内良介	77
		松戸市消防局	消防士長	倉橋直之	77
		成田市消防本部	消防司令	小川三徳	77
		旭市消防本部	消防司令補	谷中祐世	77
		習志野市消防本部	消防士長	丸山英俊	77
		流山市消防本部	消防司令補	関淳一郎	77
		富里市消防本部	消防司令補	小川雅由	77
		長生郡市広域市町村圏 組合消防本部	消防司令補	松野祥久	77
		印西地区消防組合 消防本部	消防司令補	山本泰秀	77
	消防学校	副主幹	石井祥仁	21	
		副主幹	綾部健	21	
		主査	小島大輔	21	
		主査	白石靖典	21	
		副主査	上之園友輔	21	
		副主査	猪狩忠昭	21	
病態別応急処置	千葉県救急医療センター	集中治療科 主任医長	花岡勅行	4	
		集中治療科 主任医長	藤芳直彦	3	
	日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 助教医員	飯田浩章	4	
		救命救急センター 助教医員	久城正紀	3	
		救命救急センター 助教医員	安松比呂志	2	
	船橋市立医療センター	救命救急センター 副部長	水嶋智也	6	
		麻酔科医長	木村友則	3	
	成田赤十字病院	救命救急センター長	中西加寿也	3	
		第一整形外科 部長	喜多恒次	3	
	国保旭中央病院	救急救命科部長	伊藤史生	3	
	名戸ヶ谷あびこ病院	副理事長	高橋一昭	3	
	順天堂大学医学部 附属浦安病院	救急診療科 先任准教授	松田繁	4	
	あかいし脳神経外科 クリニック	院長	赤石江太郎	4	

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所 属	職 名	氏 名	
特 殊 病 態 別 置 応 急 処 置	千葉大学医学部附属病院	助 教	鈴木 義也	3	
	千葉県精神科医療センター	名 誉 病 院 長	平 田 豊 明	4	
	日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 講 師	齋 藤 伸 行	2	
特 殊 病 態 別 置 応 急 処 置	日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 助 教 医 員	尾 川 陽	3	
		救命救急センター 助 教 医 員	太 田 黒 崇 伸	3	
	国立研究開発法人量子科学技術研究 開発機構量子生命医学部門放射線 医学研究所放射線緊急事態対応部	被ばく医療 グループリーダー	富 永 隆 子	4	
	総論	相模原市消防局 副 主 幹	永 瀬 豊	2	
		相模原市消防局 主 査	河 上 仁 厚	2	
	大妻女子大学	人間関係学 准 教 授	堀 洋 元	3	
効 果 測 定	千葉県救急医療センター	検査部長兼外傷 治療科診療部長	嶋 村 文 彦	7	
	船橋市消防局	消 防 司 令 補	手 塚 達 也	14	
	木更津市消防本部	消 防 士 長	河 内 良 介	14	
	松戸市消防局	消 防 士 長	倉 橋 直 之	14	
	成田市消防本部	消 防 司 令	小 川 三 徳	14	
	旭市消防本部	消 防 司 令 補	谷 中 祐 世	14	
	習志野市消防本部	消 防 士 長	丸 山 英 俊	14	
	流山市消防本部	消 防 司 令 補	関 淳 一 郎	14	
	富里市消防本部	消 防 司 令 補	小 川 雅 由	14	
	長生郡市広域市町村圏 組合消防本部	消 防 司 令 補	松 野 祥 久	14	
	印西地区消防組合 消防本部	消 防 司 令 補	山 本 泰 秀	14	
		消 防 学 校	副 主 査	村 山 成 吾	18
救急資器材管理	消 防 学 校	副 主 査	中 村 和 幸	6	
		副 主 査	中 村 和 幸	6	
行 事 そ の 他 (入校式・卒業式)	消 防 学 校	校 長	山 口 幸 宏	2	
		副 校 長	小 山 庸 男	2	
		教務第一課長	中 野 満 喜	2	
		教務第二課長	家 村 千 昭	2	

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
行事 その他 (入校式・卒業式)	消 防 学 校	副主幹	石井祥仁	2	
		副主幹	綾部健	2	
		主査	小島大輔	2	
		主査	白石靖典	2	
		副主査	上之園友輔	2	
		副主査	猪狩忠昭	2	
		副主査	村山成吾	7	
		副主査	杉山忍	2	
		副主査	中村和幸	7	

## (7)救急科第49期講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
救急業務及び 救急医学の基礎	千葉県がんセンター	発がん制御研究部長	筆宝義隆	4	
		実験動物研究部長	若林雄一	4	
		呼吸器外科 主任医	松井由紀子	3	
	国保旭中央病院	副院長	神田順二	7	
		副院長	中津裕臣	4	
	亀田総合病院	救命救急 センター長	不動寺純明	3	
	日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 講師	齋藤伸行	2	
	ちば消防共同指令センター	消防司令補	榎本敬介	3	
	日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 助教医員	上田太一朗	2	
	消防大学校	助教授	山崎典子	3	
消防学校	副主査	中村和幸	2		
応急処置の総論	千葉大学医学部附属病院	集中治療部部長	安部隆三	2	
	千葉県救急医療センター	外傷治療科 主任医	潮真也	5	
		脳血管治療科部長	山内利宏	3	
	帝京大学ちば 総合医療センター	救命救急センター 特任教授	森脇龍太郎	4	
	国保旭中央病院	救急救命科部長	内野正人	4	
	東京女子医科大学 八千代医療センター	救急科集中治療部 准教授診療科長	貞広智仁	3	
	国保直営総合病院 君津中央病院	救命救急 センター長	北村伸哉	3	
	日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 講師	本村友一	3	
成田赤十字病院	救命救急センター 副センター長	立石順久	4		

応急処置の総論	野田市消防本部	消防士長	大熊真史	77
	柏市消防局	消防司令	伊吹崇志	77
	八千代市消防本部	消防司令補	山口賢生	77
	君津市消防本部	消防司令補	堀大輔	77
	四街道市消防本部	消防士長	高井大地	77
	富里市消防本部	消防司令補	小川雅由	77
	安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防司令補	松井徳弘	77
	匝瑳市横芝光町消防組合消防本部	消防司令補	熱田貴亮	77
	山武郡市広域行政組合消防本部	消防司令	高根義顕	77
	香取広域市町村圏事務組合消防本部	消防司令補	藤崎恭平	77
	消防学校	副主査	村山成吾	114
	副主査	中村和幸	111	
病態別応急処置	千葉県救急医療センター	集中治療科 主任医長	花岡勅行	4
		集中治療科 主任医長	藤芳直彦	3
	日本医科大 千葉北総病 学院	救命救急センター 助教医員	飯田浩章	4
		救命救急センター 助教医員	安松比呂志	2
	船橋市立医療センター	救命救急センター 副部長	水嶋智也	6
		麻酔科医長	木村友則	3
	成田赤十字病院	救命救急センター長	中西加寿也	3
		第一整形外科 部長	喜多恒次	3
	国保旭中央病院	救急救命科部長	伊藤史生	3
	名戸ヶ谷あびこ病院	副理事長	高橋一昭	3
	順天堂大学医学部 附属浦安病院	救急診療科 先任准教授	松田繁	4
あかいし脳神経外科 クリニック	院長	赤石江太郎	4	
帝京大学ちば 総合医療センター	救命救急センター 教授	岡田昌彦	3	
特 応 殊 病 態 別 急 処 置	千葉大学医学部附属病院	助教	鈴木義也	4
		助産師	相原綾子	4
		助産師	山崎ユキ	4
	千葉県精神科医療 センター	名誉病院長	平田豊明	4
	日本医科大 千葉北総病 学院	救命救急センター 講師	齋藤伸行	2

特 殊 病 態 別 置 応 急 処 置	日 本 医 科 大 学 千 葉 北 総 病 院	救命救急センター 助 教 医 員	尾 川 陽	3
		救命救急センター 助 教 医 員	太 田 黒 崇 伸	3
	国立研究開発法人量子科学技術研究 開発機構量子生命医学部門放射線 医学研究所放射線緊急事態対応部	被 ば く 医 療 グ ル ー プ リ ー ダ ー	富 永 隆 子	4
	総 論	相 模 原 市 消 防 局 副 主 幹	本 間 雄 大	2
		相 模 原 市 消 防 局 主 査	河 上 仁 厚	2
大 妻 女 子 大 学	人 間 関 係 学 科 准 教 授	堀 洋 元	3	
効 果 測 定	千葉県救急医療センター	検 査 部 長 兼 外 傷 治 療 科 診 療 部 長	嶋 村 文 彦	7
	野 田 市 消 防 本 部	消 防 士 長	大 熊 真 史	14
	柏 市 消 防 局	消 防 司 令	伊 吹 崇 志	14
	八 千 代 市 消 防 本 部	消 防 司 令 補	山 口 賢 生	14
	君 津 市 消 防 本 部	消 防 司 令 補	堀 大 輔	14
	四 街 道 市 消 防 本 部	消 防 士 長	高 井 大 地	14
	富 里 市 消 防 本 部	消 防 司 令 補	小 川 雅 由	14
	安 房 郡 市 広 域 市 町 村 圏 事 務 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令 補	松 井 徳 弘	14
	匝 瑳 市 横 芝 光 町 消 防 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令 補	熱 田 貴 亮	14
	山 武 郡 市 広 域 行 政 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令	高 根 義 顕	14
	香 取 広 域 市 町 村 圏 事 務 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令 補	藤 崎 恭 平	14
消 防 学 校	副 主 査	村 山 成 吾	18	
	副 主 査	中 村 和 幸	18	
救 急 資 器 材 管 理	副 主 査	村 山 成 吾	6	
	副 主 査	中 村 和 幸	6	
行 事 そ の 他 (入 校 式・卒 業 式)	校 長	山 口 幸 宏	2	
	副 校 長	小 山 庸 男	2	
	教 務 第 一 課 長	中 野 満 喜	2	
	教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	1	
行 事 そ の 他 (入 校 式・卒 業 式)	副 主 幹	石 井 祥 仁	2	
	副 主 幹	綾 部 健	2	
	主 査	小 島 大 輔	2	
	主 査	白 石 靖 典	2	
	副 主 査	上 之 園 友 輔	2	
	副 主 査	猪 狩 忠 昭	2	
	副 主 査	村 山 成 吾	7	
	副 主 査	杉 山 忍	2	
副 主 査	中 村 和 幸	7		

## (8) 救助科第50期講師及び担当時間数

区 分 科 目	教 育 担 当 講 師			時 間 数
	所 属	職 名	氏 名	
講 話	消 防 学 校	副 校 長	小 山 庸 男	1
安 全 管 理	大 妻 女 子 大 学	人 間 関 係 学 部 准 教 授	堀 洋 元	3
	消 防 学 校	副 主 幹	石 井 祥 仁	3
		主 査	白 石 靖 典	4
		副 主 査	猪 狩 忠 昭	1
		副 主 査	杉 山 忍	2
災 害 救 助 対 策	千 葉 市 消 防 局	消 防 司 令 補	座 間 洋 明	4
	市 川 市 消 防 局	消 防 司 令	伊 東 章 吾	4
	松 戸 市 消 防 局	消 防 司 令 補	畠 山 義 広	4
		消 防 士 長	宇 賀 由 樹	4
	山 武 郡 市 広 域 行 政 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令 補	栗 崎 大 輔	4
	長 生 郡 市 広 域 市 町 村 圏 組 合 消 防 本 部	消 防 士 長	中 村 優 希	4
			池 澤 翔	4
	印 西 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令	橋 本 健 二	4
		消 防 司 令 補	小 國 雅 裕	4
	木 更 津 市 消 防 本 部	消 防 士 長	河 野 克 弥	4
	成 田 市 消 防 本 部	消 防 司 令	田 中 真 仁	7
		消 防 司 令 補	梅 澤 伸 行	7
		消 防 司 令 補	小 久 保 泰 孝	7
		消 防 士 長	加 藤 寛 樹	7
	東 京 電 力 パ ワ ー グ リ ッ ド 千 葉 総 支 社	渉 外 担 当 課 長	内 山 咲 子	3
		保 守 リ ー ダ ー	緑 川 秀	3
		保 守 リ ー ダ ー	佐 々 木 洋 之	3
		業 務 統 括 グ ル ー プ	関 本 慧	3
		配 電 保 守 第 二 グ ル ー プ	堀 井 弦 輝	3
	千 葉 ト ヨ タ 自 動 車 株 式 会 社	副 課 長	柴 田 淳 史	4
		係 長	飯 嶋 慎 也	4
	フ ジ テ ッ ク 株 式 会 社	係 長	高 山 和 也	2

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
災害救助対策	消防学校	副主幹	石井祥仁	15	
		副主幹	綾部健	15	
		主査	小島大輔	4	
		主査	白石靖典	15	
		副主査	上之園祐輔	15	
		副主査	猪狩忠昭	15	
		副主査	杉山忍	11	
救急	市原市消防局	消防司令	井原博英	7	
		消防司令補	進藤政伯	7	
	木更津市消防本部	消防司令補	影山靖人	7	
		消防士長	河内良介	7	
	消防学校	副主査	猪狩忠昭	7	
救助器具取扱訓練	千葉市消防局	消防司令補	西野啓史	4	
	市川市消防局	消防司令	染谷英昭	4	
	佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	消防司令	後藤武	4	
	松戸市消防局	消防司令補	尾崎力	4	
	船橋市消防局	消防司令補	坂本信悟	4	
	旭市消防本部	消防司令補	多田邦康	4	
	文化シャッター株式会社	千葉サービス部長	間瀬尚輝	24	
			他5名		
	消防学校	副主幹	石井祥仁	9	
		副主幹	綾部健	9	
		主査	小島大輔	9	
主査		白石靖典	5		
副主査		上之園友輔	9		
副主査		猪狩忠昭	9		
副主査		杉山忍	4		
救助訓練	千葉市消防局	消防司令	高野和彦	3	
		消防司令	桑田頼孝	3	
		消防司令補	竹内守男	3	
		消防司令補	橋爪武彦	3	
		消防司令補	西野啓史	28	
		消防士長	伊東孝幸	3	
		消防士長	井川裕介	3	

区 分 科 目	教 育 担 当 講 師			時間数
	所 属	職 名	氏 名	
救 助 訓 練	市 川 市 消 防 局	消 防 司 令	染 谷 英 昭	42
		消 防 司 令	早 川 寿 明	14
	佐 倉 市 八 街 市 酒 々 井 町 消 防 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令	後 藤 武	28
		消 防 司 令 補	山 崎 佳 史	14
	松 戸 市 消 防 局	消 防 司 令 補	尾 崎 力	28
		消 防 士 長	渡 邊 健 太	14
	船 橋 市 消 防 局	消 防 司 令 補	坂 本 信 悟	28
	旭 市 消 防 本 部	消 防 司 令 補	多 田 邦 康	14
	印 西 地 区 消 防 組 合 本 部	消 防 司 令	村 越 広 行	7
		消 防 司 令 補	鈴 木 史 浩	14
		消 防 司 令 補	鈴 木 徹	7
		消 防 司 令 補	宮 嶋 真 太 郎	7
		消 防 司 令 補	田 村 和 久	7
		消 防 司 令 補	井 上 享 紀	7
		消 防 司 令 補	齋 藤 一 馬	7
		消 防 司 令 補	山 崎 裕 貴	7
		消 防 士 長	月 岡 裕 二	14
		消 防 士 長	葛 生 裕 介	7
		消 防 士 長	秋 谷 薫	7
		消 防 士 長	藤 井 祐 人	7
		八 千 代 市 消 防 本 部	消 防 司 令 補	江 崎 利 博
	消 防 司 令 補		古 川 幸 大	21
	消 防 司 令 補		遠 藤 達 也	7
	消 防 司 令 補		角 田 将 之	7
	消 防 司 令 補		細 川 俊 介	7
	消 防 士 長		南 勇 太	21
	消 防 士 長		岸 嵩 将	7
	消 防 士 長		中 臺 涼 太	7
	消 防 士 長		高 井 光 司	7
	消 防 士 長		東 江 将 希	7
	消 防 士 長		中 臺 将 哉	7
	消 防 士 長		澤 一 裕	7
	消 防 士		丹 谷 大 樹	7
	消 防 士		山 崎 隆 史	7
	木 更 津 市 消 防 本 部		消 防 士 長	河 野 克 弥
	山 武 郡 市 広 域 行 政 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令	石 橋 良 二	14
	我 孫 子 市 消 防 本 部	消 防 司 令 補	笹 林 祐 介	14
		消 防 副 士 長	山 浦 辰 夫	14
	成 田 市 消 防 本 部	消 防 司 令 補	鈴 木 啓 介	14

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所 属	職 名	氏 名	
救 助 訓 練		匝瑳市横芝光町消防組合 消防本部	消防司令補	小川正貴	14
		安房郡市広域市町村圏 事務組合消防本部	消防士長	石井択実	14
		香取広域市町村圏 事務組合消防本部	消防司令補	田邊和義	14
		日本医科大学 付属病院	高度救命救急 センター助教医員	阪本太吾	7
		東京医科歯科大学 医学部附属病院	救急救命士	加藤渚	14
		A R i g g i n g	T R インストラクター	阿部恭浩	7
				大須賀一馬	7
				山崎康司	7
		船山株式会社	取締役部長	竹田隆広	28
			次長	今井成二	
				他2名	
		東日本旅客鉄道株式会社	副課長	坂間正浩	4
			副課長	杉浦佳	
		消 防 学 校	副主幹	石井祥仁	17
			副主幹	綾部健	10
			主査	小島大輔	10
主査	白石靖典		17		
副主査	上之園祐輔		24		
副主査	猪狩忠昭		24		
副主査	杉山忍		14		
総 合 訓 練	千葉市消防局	消防司令補	西野啓史	14	
	市川市消防局	消防司令	染谷英昭	14	
	佐倉市八街市酒々井町 消防組合消防本部	消防司令	後藤武	14	
	松戸市消防局	消防司令補	尾崎力	14	
	船橋市消防局	消防司令補	坂本信悟	14	
	旭市消防本部	消防司令補	多田邦康	14	

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
総合訓練	消防学校	教務第二課長	家村千昭	14	
		副主幹	石井祥仁	14	
		副主幹	綾部健	14	
		主査	小島大輔	14	
		主査	白石靖典	14	
		副主査	上之園友輔	14	
		副主査	猪狩忠昭	14	
		副主査	村山成吾	7	
効果測定	千葉市消防局	消防司令補	西野啓史	3	
	市川市消防局	消防司令	染谷英昭	3	
	佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	消防司令	後藤武	3	
	松戸市消防局	消防司令補	尾崎力	3	
	船橋市消防局	消防司令補	坂本信悟	3	
	旭市消防本部	消防司令補	多田邦康	3	
	消防学校	副主査	猪狩忠昭	4	
行事その他 (入校式・卒業式)	消防学校	校長	山口幸宏	2	
		副校長	小山庸男	2	
		教務第一課長	中野満喜	2	
		教務第二課長	家村千昭	2	
		副主幹	石井祥仁	2	
		副主幹	綾部健	2	
		主査	小島大輔	1	
		主査	白石靖典	2	
		副主査	上之園友輔	2	
		副主査	猪狩忠昭	2	
		副主査	村山成吾	2	
		副主査	杉山忍	1	
副主査	中村和幸	1			

### 3 幹部教育

#### (1) 教育人員、日数等

科別	人員、日数	教 育			担当講師の延教育時間数		
	期 間	人員	実日数	時間数	専任	外来	計
中 級 幹 部 科 第38期	令和3年10月12日(火)～ 令和3年10月21日(木)	16	8	54	171	11	182
	計	16	8	54	171	11	182

## (2) 中級幹部科第37期講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所 属	職 名	氏 名	
講 話	消 防 学 校	校 長	山 口 幸 宏	1	
訓 練 礼 式	消 防 学 校	副 主 幹	石 井 祥 仁	1	
		副 主 幹	綾 部 健	1	
		主 査	小 島 大 輔	1	
		副 主 査	上 之 園 友 輔	1	
		副 主 査	杉 山 忍	1	
人 事 業 務 管 理	有 限 会 社 エ ン カ ッ 社	代 表 取 締 役 社 長	宇 於 崎 裕 美	4	
	消 防 学 校	教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	3	
		主 査	小 島 大 輔	3	
消 防 財 政	消 防 学 校	教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	2	
現 場 指 揮	消 防 大 学 校	教 授	大 豆 生 田 頭	3	
	消 防 学 校	教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	14	
		副 主 幹	石 井 祥 仁	14	
		副 主 幹	綾 部 健	14	
		主 査	小 島 大 輔	14	
総 合 訓 練	消 防 学 校	教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	7	
		副 主 幹	石 井 祥 仁	7	
		副 主 幹	綾 部 健	7	
		主 査	小 島 大 輔	7	
		副 主 査	白 石 靖 典	7	
		副 主 査	上 之 園 友 輔	7	
		副 主 査	猪 狩 忠 昭	7	
		副 主 査	村 山 成 吾	7	
図 上 訓 練	消 防 学 校	副 主 幹	石 井 祥 仁	2	
		副 主 幹	綾 部 健	2	
		主 査	小 島 大 輔	2	
事 例 研 究	プ ラ ッ サ 法 律 事 務 所	弁 護 士	増 田 直 毅	4	
	消 防 学 校	副 主 幹	石 井 祥 仁	3	
		主 査	小 島 大 輔	3	
安 全 管 理	消 防 学 校	副 主 査	上 之 園 友 輔	3	
効 果 測 定	消 防 学 校	副 主 査	石 井 祥 仁	1	
行 事 そ の 他 (入 校 式 ・ 修 了 式)	消 防 学 校	校 長	山 口 幸 宏	2	
		副 校 長	小 山 庸 男	2	
		教 務 第 一 課 長	中 野 満 喜	2	
		教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	2	
		副 主 幹	石 井 祥 仁	2	
		副 主 幹	綾 部 健	2	
		主 査	小 島 大 輔	2	
		副 主 査	村 山 成 吾	2	
副 主 査	中 村 和 幸	2			

#### 4 特別教育

##### (1) 教育人員、日数等

科別	人員、日数	教 育			担当講師の延教育時間数		
	期 間	人員	実日数	時間数	専任	外来	計
訓練指導科 第47期	令和3年4月5日(月)～ 令和3年4月16日(金)	59	10	68	481	60	541
はしご自動車等講習会 第32回	令和3年11月29日(月)～ 令和3年12月2日(木)	24	4	28	69	171	240
水難救助科 第10期	令和3年8月23日(月)～ 令和3年8月27日(金)	18	5	33	72	320	392
高度救助科 第3期	令和4年1月17日(月)～ 令和4年1月28日(金)	13	10	68	108	136	244
気管挿管認定救命士再教育 第3回	令和3年11月24日(水)～ 令和3年11月26日(金)	4	3	21	49	27	76
救急救命士再教育 第1回	令和3年8月30日(月)～ 令和3年9月8日(水)	9	8	55	95	105	200
救急隊長再教育 第3回	令和3年8月2日(月)～ 令和3年8月6日(金)	10	5	33	51	129	180
計		137	45	306	925	948	1,873

## (2) 訓練指導科第47期講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所	属	職名氏名	
訓練礼式	消防学校	副主幹	石井祥仁	2	
		副主幹	綾部健	2	
		主査	小島大輔	2	
		主査	白石靖典	2	
		副主査	上之園友輔	2	
		副主査	猪狩忠昭	2	
		副主査	村山成吾	2	
		副主査	杉山忍	2	
		副主査	中村和幸	2	
ポンプ車操法	消防学校	副主幹	石井祥仁	18	
		副主幹	綾部健	18	
		主査	小島大輔	18	
		主査	白石靖典	18	
		副主査	上之園友輔	11	
		副主査	猪狩忠昭	18	
		副主査	杉山忍	18	
小型ポンプ操法	IHIシバウラ代理店(株)清水商会	営業部長	有水佳文	4	
		営業係長	朝倉順一	4	
	トーハツ代理店(株)吉田商会	代表取締役	氏家英人	4	
		防災営業部	桑澤克彦	4	
	株式会社IHIシバウラ	防災グループ	望月厚志	4	
			深田哲生	4	
	帝商(株)	取締役防災部長	伊藤昌弘	4	
	芦森工業(株)	防災営業部	前田宏亮	4	
		防災技術部	坂口正記	4	
	(株)赤尾	東京営業部長	横山剛	4	
	櫻護謨(株)	技術部	石田昭二	4	
			宮澤操	4	
	株式会社岩崎製作所	営業課長	海老谷大樹	4	
	横井製作所	営業課長	高関義巳	4	
		営業	佐藤陽太	4	
	消防学校	消防学校	副主幹	石井祥仁	17
副主幹			綾部健	17	
主査			小島大輔	17	
主査			白石靖典	17	
副主査			上之園友輔	17	
副主査			猪狩忠昭	17	
副主査			杉山忍	17	

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所 属	職 名	氏 名	
審査要領	消防学校	副主幹	石井祥仁	18	
		副主幹	綾部健	18	
		主査	小島大輔	18	
		主査	白石靖典	18	
		副主査	上之園友輔	18	
		副主査	猪狩忠昭	18	
		副主査	杉山忍	18	
指導技法	消防学校	副主幹	綾部健	3	
行事その他 (資機材整備・環境整備等)	消防学校	副主幹	石井祥仁	7	
		副主幹	綾部健	7	
		主査	小島大輔	7	
		主査	白石靖典	7	
		副主査	上之園友輔	7	
		副主査	猪狩忠昭	7	
		副主査	村山成吾	7	
		副主査	杉山忍	7	
		副主査	中村和幸	7	
行事その他 (入校式、修了式等)	消防学校	校長	山口幸宏	2	
		教務第一課長	小山庸男	2	
		教務第二課長	中野満喜	2	
		主幹	家村千昭	2	
		副主幹	石井祥仁	3	
		副主幹	綾部健	3	
		主査	小島大輔	3	
		主査	白石靖典	3	
		副主査	上之園友輔	3	
		副主査	猪狩忠昭	3	
		副主査	村山成吾	3	
		副主査	杉山忍	3	
		副主査	中村和幸	3	

## (2) 第32回はしご自動車等講習会講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所 属	職 名	氏 名	
安全管理		消防学校	副主幹	石井祥仁	1
基本取扱訓練	千葉市消防局		消防司令	西川正人	4
			消防士長	野村勇介	4
			消防士	中村彌成	4
			消防士	佐藤晃士	4
	市原市消防局		消防司令	鎌田修	4
			消防司令補	小倉周時	4
			消防司令補	河内智也	4
			消防士	高橋翼	4
		消防学校	主査	小島大輔	4
			副主査	上之園友輔	4
取扱基本理論 特殊装置の構造		(株)モリタテクノス	東日本営業部	高橋雅人	3
故障と対策		(株)モリタテクノス	東日本営業部	高橋雅人	2
	市原市消防局		消防司令	鎌田修	2
			消防司令	征矢善行	2
			消防司令補	在原勉	2
			消防士	吉田圭佑	2
		消防士	小原祐希	2	
	消防学校	主査	小島大輔	2	
副主査		上之園友輔	2		
点検と整備		(株)モリタテクノス	東日本営業部	高橋雅人	2
	市原市消防局		消防司令	鎌田修	2
			消防司令	征矢善行	2
			消防司令補	在原勉	2
			消防士	吉田圭佑	2
			消防士	小原祐希	2
	消防学校	主査	小島大輔	2	
		副主査	上之園友輔	2	
応用取扱操作	千葉市消防局		消防司令	加藤浩二郎	6
			消防司令補	小井戸雄一	6
			消防士長	保科雄人	6
			消防士	中村彌成	6
	市原市消防局		消防司令	鎌田修	6
			消防司令補	小倉周時	6
			消防司令補	河内智也	6
			消防士長	伊東宗一朗	6
		消防学校	消防士	吉田圭佑	6
	主査		小島大輔	6	
	副主査	上之園友輔	6		

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所 属	職 名	氏 名	
応用取扱操作	千葉市消防局	消防司令	大岩昭一郎	6	
		消防士長	丸尾康之	6	
		消防士長	大川拓也	6	
		消防士	小熊伸哉	6	
	市原市消防局	消防司令	鎌田修	6	
		消防司令補	川口勝典	6	
		消防士長	小出貴成	6	
		消防士	田口寛朗	6	
	消防学校	消防士	吉田圭佑	6	
		主 査	小島大輔	6	
消防学校	副 主 査	上之園友輔	6		
	主 査	小島大輔	1		
効果測定	消防学校	副 主 査	上之園友輔	1	
		校 長	山口幸宏	2	
行事その他 (入校式・修了式)	消防学校	副 校 長	小山庸男	2	
		教務第一課長	中野満喜	2	
		教務第二課長	家村千昭	2	
		副 主 幹	石井祥仁	2	
		副 主 幹	綾部健	2	
		主 査	小島大輔	2	
		主 査	白石靖典	2	
		副 主 査	上之園友輔	2	
		副 主 査	猪狩忠昭	2	
		副 主 査	村山成吾	2	
		副 主 査	杉山忍	2	
		副 主 査	中村和幸	2	

## (3) 水難救助科第10期講習講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
安全管理		市川市消防局	消防司令	高橋由樹	1
		海上保安庁千葉海上保安部 警備救難課	専門官	角田幸夫	1
潜水理論		亀田総合病院	救命救急センター 救命救急科部長 高気圧酸素治療 室長	鈴木信哉	4
		海上保安庁千葉海上保安部 警備救難課	専門官	角田幸夫	2
基本訓練		市川市消防局	消防司令	高橋由樹	12
			消防司令	伊藤隆行	12
			消防司令補	田中寛幸	12
		松戸市消防局	消防司令	吉田茂広	12
			消防司令補	畠山義広	12
		船橋市消防局	消防司令補	篠原健一	12
			消防士長	荒谷純平	12
		野田市消防本部	消防司令補	渥美雄也	12
		夷隅郡市広域市町村圏 事務組合消防本部	消防司令補	塩田浩之	12
		山武郡市広域行政組合 消防本部	消防司令補	齊藤大志	12
		印西地区消防組合 消防本部	消防司令補	井上享紀	12
		銚子市消防本部	消防士長	高橋由憲	12
		木更津市消防本部	消防士長	大須賀剛	12
		浦安市消防本部	消防士長	山下翔	12
		海上保安庁千葉海上保安部 警備救難課	専門官	角田幸夫	4
		消防学校	副主幹	石井祥仁	4
			副主幹	綾部健	1
副主査	上之園友輔		7		
副主査	猪狩忠昭		2		
副主査	村山成吾		6		
副主査	杉山忍		1		
副主査	中村和幸		4		

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
応用訓練	市川市消防局	消防司令	高橋由樹	5	
		消防司令	伊藤隆行	5	
		消防司令補	田中寛幸	5	
	松戸市消防局	消防司令	吉田茂広	5	
		消防司令補	畠山義広	5	
	船橋市消防局	消防司令補	篠原健一	5	
		消防士長	荒谷純平	5	
	野田市消防本部	消防司令補	渥美雄也	5	
	夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防司令補	塩田浩之	5	
	山武郡市広域行政組合消防本部	消防司令補	齊藤大志	5	
	印西地区消防組合消防本部	消防司令補	井上享紀	5	
	銚子市消防本部	消防士長	高橋由憲	5	
	木更津市消防本部	消防士長	大須賀剛	5	
	浦安市消防本部	消防士長	山下翔	5	
	消防学校	副主査	石井祥仁	2	
		主査	白石靖典	1	
		副主査	上之園友輔	2	
副主査		村山成吾	2		
副主査		中村和幸	3		
総合訓練	市川市消防局	消防司令	高橋由樹	3	
		消防司令	伊藤隆行	3	
		消防司令補	田中寛幸	3	
	松戸市消防局	消防司令	吉田茂広	3	
		消防司令補	畠山義広	3	
	船橋市消防局	消防司令補	篠原健一	3	
		消防士長	荒谷純平	3	
	野田市消防本部	消防司令補	渥美雄也	3	
	夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防司令補	塩田浩之	3	
	山武郡市広域行政組合消防本部	消防司令補	齊藤大志	3	
	印西地区消防組合消防本部	消防司令補	井上享紀	3	
	銚子市消防本部	消防士長	高橋由憲	3	
	木更津市消防本部	消防士長	大須賀剛	3	
	浦安市消防本部	消防士長	山下翔	3	
	消防学校	副主査	上之園友輔	1	
		副主査	猪狩忠昭	1	
		副主査	村山成吾	2	
副主査		杉山忍	1		
副主査		中村和幸	1		

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
効果測定	市川市消防局	消防司令	高橋由樹	2	
		消防司令	伊藤隆行	2	
		消防司令補	田中寛幸	2	
	松戸市消防局	消防司令	吉田茂広	2	
		消防司令補	畠山義広	2	
	船橋市消防局	消防司令補	篠原健一	2	
		消防士長	荒谷純平	2	
	野田市消防本部	消防司令補	渥美雄也	2	
	夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防司令補	塩田浩之	2	
	山武郡市広域行政組合消防本部	消防司令補	齊藤大志	2	
	印西地区消防組合消防本部	消防司令補	井上享紀	2	
	銚子市消防本部	消防士長	高橋由憲	2	
	木更津市消防本部	消防士長	大須賀剛	2	
	浦安市消防本部	消防士長	山下翔	2	
	消防学校	主査	白石靖典	1	
副主査		上之園友輔	2		
副主査		猪狩忠昭	2		
副主査		村山成吾	1		
行事その他 (入学式・修了式)	消防学校	校長	山口幸宏	2	
		副校長	小山庸男	2	
		教務第一課長	中野満喜	2	
		教務第二課長	家村千昭	2	
		主幹	石井祥仁	2	
		副主幹	綾部健	2	
		主査	白石靖典	1	
		副主査	上之園友輔	2	
		副主査	猪狩忠昭	2	
		副主査	村山成吾	2	
		副主査	杉山忍	2	
		副主査	中村和幸	2	

## (4) 高度救助科第3期講習講師及び担当時間数

科	区分目	教 育 担 当 講 師			時間数
		所 属	職 名	氏 名	
消 防 法 則		消 防 学 校	主 査	白 石 靖 典	2
安 全 管 理		消 防 学 校	副 主 幹	石 井 祥 仁	2
消 防 運 用		松 戸 市 消 防 局	消 防 司 令	又 吉 直 人	34
		柏 市 消 防 局	消 防 司 令 補	川 又 順	34
		市 原 市 消 防 局	消 防 司 令 補	青 木 剛	27
		佐 倉 市 八 街 市 酒 々 井 町 消 防 組 合 消 防 本 部	消 防 司 令	大 森 燃	34
		日 本 医 科 大 学 院 附 属 病 院	高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー 助 教 医 員	阪 本 太 吾	3
		国 立 研 究 開 発 法 人 量 子 科 学 技 術 研 究 開 発 機 構 量 子 生 命 医 学 部 門 放 射 線 医 学 研 究 所 放 射 線 緊 急 事 態 対 応 部	被 ば く 医 療 グ ル ー プ リ ー ダ ー	富 永 隆 子	1
		船 山 株 式 会 社	次 長	今 井 成 二	1
		帝 商 株 式 会 社	部 長	伊 藤 昌 弘	1
		桜 護 謨 株 式 会 社	係 長	石 田 昭 二	1
		消 防 学 校	副 主 幹	石 井 祥 仁	8
			副 主 幹	綾 部 健	12
			主 査	小 島 大 輔	13
			主 査	白 石 靖 典	8
	副 主 査		上 之 園 友 輔	8	
	副 主 査		猪 狩 忠 明	4	
	副 主 査		杉 山 忍	12	
事 例 研 究	消 防 学 校	主 査	小 島 大 輔	6	
		副 主 査	杉 山 忍	6	
行 事 そ の 他 (入 校 式 ・ 修 了 式)	消 防 学 校	校 長	山 口 幸 宏	2	
		副 校 長	小 山 庸 男	2	
		教 務 第 一 課 長	中 野 満 喜	2	
		教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	2	
		副 主 幹	石 井 祥 仁	2	
		副 主 幹	綾 部 健	2	
		主 査	小 島 大 輔	2	
		主 査	白 石 靖 典	2	
		副 主 査	上 之 園 友 輔	2	
		副 主 査	猪 狩 忠 明	1	
		副 主 査	村 山 成 吾	2	
		副 主 査	杉 山 忍	4	
	副 主 査	中 村 和 幸	2		

## (5) 第3回気管挿管認定救命士再教育講師及び担当時間数

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
救急医療の現状と課題		日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 助教 医師	益子 一樹	1
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を含む気管挿管に必要な知識と機能		千葉県救急医療センター	麻酔科部長	稲葉 晋	3
実習		千葉県救急医療センター	麻酔科部長	稲葉 晋	6
		印西地区消防組合	消防司令補	豊島 治	12
		千葉市消防局	消防司令補	座間 洋明	12
		消防学校	副主査	村山 成吾	12
			副主査	中村 和幸	12
実技試験		千葉県救急医療センター	麻酔科部長	稲葉 晋	1
		印西地区消防組合	消防司令補	豊島 治	1
		千葉市消防局	消防司令補	座間 洋明	1
		消防学校	副主査	村山 成吾	1
			副主査	中村 和幸	1
筆記試験		消防学校	副主査	村山 成吾	1
行事その他 (入校式・修了式)		消防学校	校長	山口 幸宏	2
			副校長	小山 庸男	1
			教務第一課長	中野 満喜	2
			教務第二課長	家村 千昭	2
			副主幹	石井 祥仁	2
			副主幹	綾部 健	1
			主査	小島 大輔	2
			主査	白石 靖典	1
			副主幹	上之園 友輔	2
			副主査	猪狩 忠昭	2
			副主査	村山 成吾	2
			副主査	中村 和幸	2

## (6) 第1回救急救命士再教育講師及び担当時間数

科目	教育担当講師			時間数
	区分	所 属	職 名	
救急救命処置の変遷	日 本 医 科 大 学 千 葉 北 総 大 病 院	救命救急センター 助 教 医 員	益 子 一 樹	1
メディカルコントロールと救急救命処置	日 本 医 科 大 学 千 葉 北 総 大 病 院	救命救急センター 助 教 医 員	益 子 一 樹	1
糖尿病及び低血糖の病態と治療	千葉大学医学部附属病院	救命救急センター 助 教	島 田 忠 長	3
ショックの病態と治療	日 本 医 科 大 学 千 葉 北 総 大 病 院	救命救急センター 助 教 医 員	益 子 一 樹	4
病態別応急処置	順天堂大学医学部 附 属 浦 安 病 院	救 急 診 療 科 先 任 准 教 授	松 田 繁	2
	帝京ちば総合医療 セ ン タ ー	救命救急センター 特 任 教 授	森脇 龍太郎	4
消 防 管 理	消 防 学 校	副 主 査	村 山 成 吾	2
実 習	成 田 赤 十 字 病 院	副 院 長	中 西 加 寿 也	3
	国保直営総合病院 君 津 中 央 病 院	救命救急センター 救 急 集 中 治 療 科 医 長	岩 瀬 信 哉	4
	柏 市 消 防 局	消 防 司 令	佐々木真弘	21
	栄 町 消 防 本 部	消 防 司 令	石 原 和 典	21
	匝瑳市横芝光町消防組合 消 防 本 部	消 防 司 令 補	江 嶋 慎 太 郎	21
	消 防 学 校	副 主 査 副 主 査	村 山 成 吾 中 村 和 幸	21 21
A H A B L S プロバイダーコース	佐倉市八街市酒々井町消防組合 消 防 本 部	消 防 司 令	矢 島 茂 樹	7
	君 津 市 消 防 本 部	消 防 司 令	稲 垣 明 利	7
	旭 市 消 防 本 部	消 防 司 令 補	佐 田 直 樹	7
	船 橋 市 消 防 局	消 防 司 令 補	手 塚 達 也	7
効 果 測 定	千葉県救急医療センター	麻 酔 科 部 長	稲 葉 晋	6
	柏 市 消 防 局	消 防 司 令	佐々木真弘	6
	栄 町 消 防 本 部	消 防 司 令	石 原 和 典	6
	匝瑳市横芝光町消防組合 消 防 本 部	消 防 司 令 補	江 嶋 慎 太 郎	6 6
	消 防 学 校	副 主 査	村 山 成 吾	7
		副 主 査	中 村 和 幸	7
行 事 そ の 他 (入校式・修了式)	消 防 学 校	校 長	山 口 幸 宏	2
		副 校 長	小 山 庸 男	2
		教 務 第 一 課 長	中 野 満 喜	2
		教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	2
		副 主 幹	石 井 祥 仁	2
		副 主 幹	綾 部 健	2
主 査	白 石 靖 典	2		

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
行事その他 (入校式・修了式)	消防学校	副主査	上之園友輔	2	
		副主査	猪狩忠昭	2	
		副主査	村山成吾	2	
		副主査	杉山忍	2	
		副主査	中村和幸	2	

(7) 第3回救急隊長再教育講師及び担当時間数

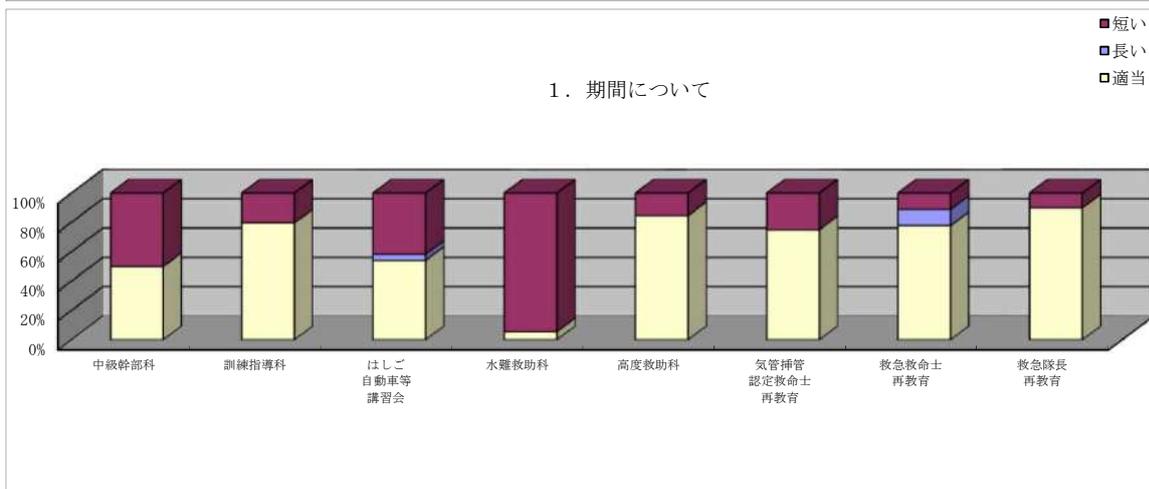
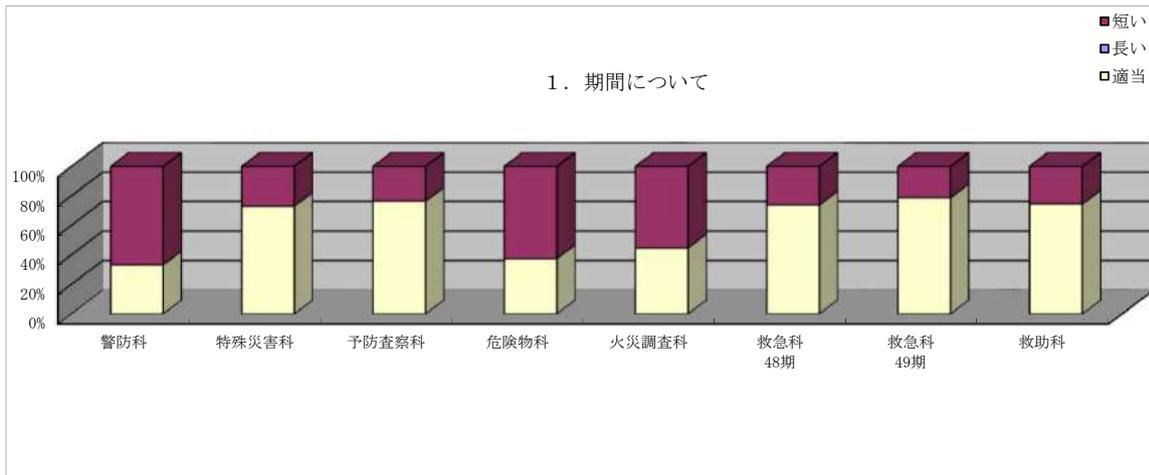
科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
消 防 法 制		日本医科大学 千葉北総病院	救命救急センター 助教医員	益子 一樹	1
		橋本救急活動法務研究所	所長	橋本雄太郎	3
消 防 管 理		四街道市消防本部	消防司令	小野田守一朗	5
		香取広域市町村圏事務組合 消防本	消防司令	椎名裕栄	5
		野田市消防本部	消防司令補	飯塚博之	5
消 防 運 用		救急医療センター	診療部長	嶋村文彦	5
		成田赤十字病院	救命救急 副センター長	立石順久	5
		東京慈恵会医科大学附属 柏病	救命救急 センター長	卯津羅雅彦	5
		成田市消防本部	消防司令	瀧本尊仁	5
		我孫子市消防本部	消防士長	栗崎貴彦	5
		佐倉市八街市酒々井町 消防組合消防本	消防司令	伊藤 誠	5
		栄町消防本部	消防司令	栢本 勉	5
		銚子市消防本部	消防司令補	高木一史	5
		市川市消防本部	消防司令	北田 博	5
		旭市消防本部	消防司令	宮崎喜久	5
		柏市消防本部	消防司令	伊吹崇志	5
		富津市消防本部	消防司令補	露崎正之	5
		浦安市消防本部	消防司令	工藤嘉一郎	5
		夷隅郡市広域祖町村 事務組合消防本	消防司令補	網野貴裕	5
		実 習		順天堂大学医学部 附属浦安病院	先任准教授
四街道市消防本部	消防司令			小野田守一朗	7
香取広域市町村圏事務組合 消防本	消防司令			椎名裕栄	7
野田市消防本部	消防司令補			飯塚博之	7
消 防 学 校	副主査 副主査			村山成吾 中村和幸	7 7
事 例 研 究		四街道市消防本部	消防司令	小野田守一朗	5
		香取広域市町村圏事務組合 消防本	消防司令	椎名裕栄	5
		野田市消防本部	消防司令補	飯塚博之	5
		消 防 学 校	副主査 副主査	村山成吾 中村和幸	5 5

科目	区分	教育担当講師			時間数
		所属	職名	氏名	
行事その他 (入校式・修了式)	消 防 学 校	校 長	山 口 幸 宏	2	
		副 校 長	小 山 庸 男	2	
		教 務 第 一 課 長	中 野 満 喜	2	
		教 務 第 二 課 長	家 村 千 昭	2	
		副 主 幹	石 井 祥 仁	2	
		副 主 幹	綾 部 健	2	
		副 主 査	小 島 大 輔	2	
		副 主 査	白 石 靖 典	1	
		副 主 査	上 之 園 友 輔	2	
		副 主 査	猪 狩 忠 昭	2	
		副 主 査	村 山 成 吾	3	
		副 主 査	杉 山 忍	2	
		副 主 査	中 村 和 幸	3	

5 専科教育・幹部教育・特別教育 教育訓練アンケート結果

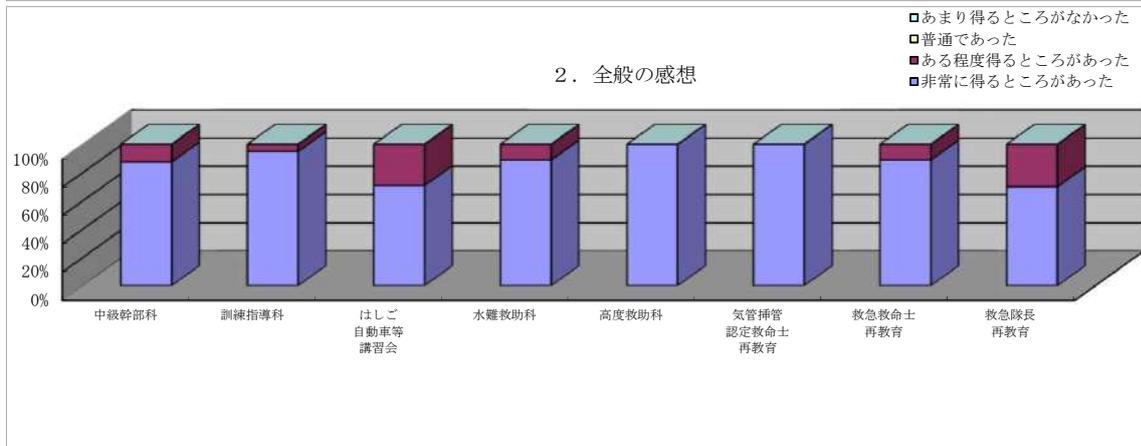
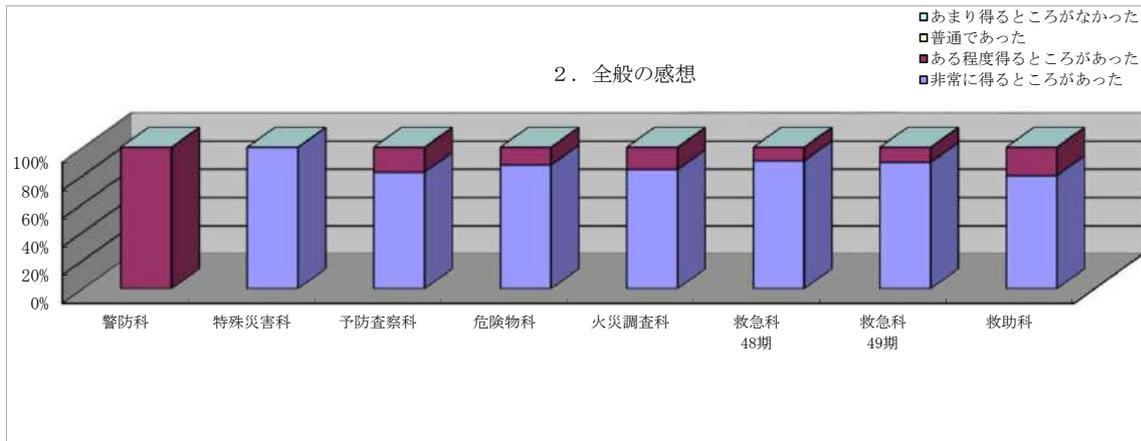
(1) 期間について

	警防科	特殊災害科	予防査察科	危険物科	火災調査科	救急科 48期	救急科 49期	救助科
適当	2	19	26	3	17	62	67	41
長い	0	0	0	0	0	0	0	0
短い	4	7	8	5	21	22	18	14
	中級幹部科	訓練指導科	はしご 自動車等 講習会	水難救助科	高度救助科	気管挿管 認定救命士 再教育	救急救命士 再教育	救急隊長 再教育
適当	8	47	13	1	11	3	7	9
長い	0	0	1	0	0	0	1	0
短い	8	12	10	17	2	1	1	1



(2) 全般の感想

	警防科	特殊災害科	予防査察科	危険物科	火災調査科	救急科 48期	救急科 49期	救助科
非常に得るところがあった	0	26	28	7	32	76	76	44
ある程度得るところがあった	6	0	6	1	6	8	9	11
普通であった	0	0	0	0	0	0	0	0
あまり得るところがなかった	0	0	0	0	0	0	0	0
	中級幹部科	訓練指導科	はしご 自動車等 講習会	水難救助科	高度救助科	気管挿管 認定救命士 再教育	救急救命士 再教育	救急隊長 再教育
非常に得るところがあった	14	56	17	16	13	4	8	7
ある程度得るところがあった	2	3	7	2	0	0	1	3
普通であった	0	0	0	0	0	0	0	0
あまり得るところがなかった	0	0	0	0	0	0	0	0

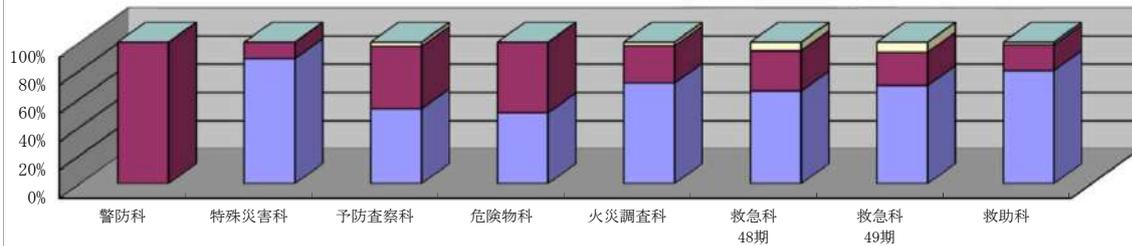


(3) 相互啓発の場又は自己啓発の動機付け

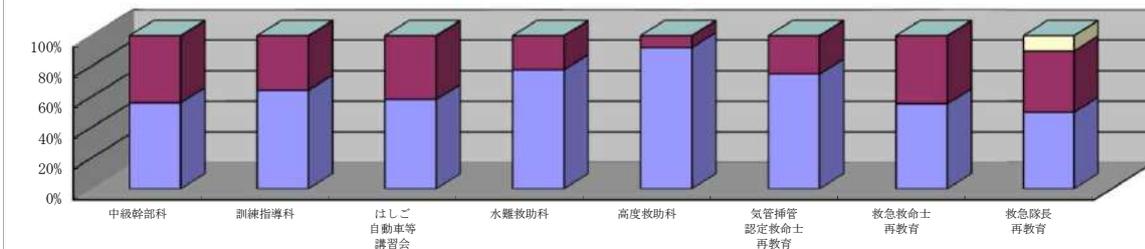
	警防科	特殊災害科	予防査察科	危険物科	火災調査科	救急科 48期	救急科 49期	救助科
大いになった	0	23	18	4	27	55	59	44
なった	6	3	15	4	10	24	20	10
まあまあなった	0	0	1	0	1	5	6	1
あまりならなかった	0	0	0	0	0	0	0	0
	中級幹部科	訓練指導科	はしご 自動車等 講習会	水難救助科	高度救助科	気管挿管 認定救命士 再教育	救急救命士 再教育	救急隊長 再教育
大いになった	9	38	14	14	12	3	5	5
なった	7	21	10	4	1	1	4	4
まあまあなった	0	0	0	0	0	0	0	1
あまりならなかった	0	0	0	0	0	0	0	0

- あまりならなかった
- まあまあなった
- なった
- 大いになった

3. 相互啓発の場又は自己啓発の動機付け



3. 相互啓発の場又は自己啓発の動機付け



### 第3 消防団員に対する教育訓練

#### 1 教育人員、日数等

教科別		区分	教育人員	教育実日数	教育時間数	担当講師の延教育時間数		
						専任	外来	計
専科教育	警防科第14期		5	2	12	48	0	48
	機関科第8期		3	2	12	46	7	53
	小計		8	4	24	94	7	101
	指揮幹部科現場指揮課程第7期		10	2	12	60	0	60
	指揮幹部科分団指揮課程第7期		14	2	12	44	2	46
	小計		24	4	24	104	2	106
特別教育	訓練指導科第39期		45	2	12	98	0	98
	女性消防団員科第16期		30	2	12	100	1	101
	小型無人航空機(ドローン)基礎研修第4回		23	1	6	0	24	24
	オフロードバイク研修第4回		17	1	6	0	12	12
	一日入校		0	0	0	0	0	0
	現地教育		0	0	0	0	0	0
	小計		115	6	36	198	37	235
その他	指導員研修(消防協会主催)		40	2	12	60	0	60
	小計		40	2	12	60	0	60
合計			187	16	96	456	46	502

## 2 専科教育

### (1) 警防科

期	人員・日数	教育人員	担当講師(人)			実施期間	実日数	担当講師 の延教育 時間数
			専任	外来	計			
第14期		5	9	0	9	R2.12.12~12.13	2	48
計		5	9	0	9		2	48

### (2) 機関科

期	人員・日数	教育人員	担当講師(人)			実施期間	実日数	担当講師 の延教育 時間数
			専任	外来	計			
第8期		3	9	3	12	R3.11.6~11.7	2	53
計		3	9	3	12		2	53

## 3 幹部教育

### (1) 指揮幹部科現場指揮課程

期	人員・日数	教育人員	担当講師(人)			実施期間	実日数	担当講師 の延教育 時間数
			専任	外来	計			
第7期		10	12	0	12	R4.2.12~2.13	2	60
計		10	12	0	12		2	60

### (2) 指揮幹部科分団指揮課程

期	人員・日数	教育人員	担当講師(人)			実施期間	実日数	担当講師 の延教育 時間数
			専任	外来	計			
第7期		14	7	2	9	R4.3.12~3.13	2	44
計		14	7	2	9		2	44

#### 4 特別教育

##### (1) 訓練指導科

期	人員・日数	教育人員	担当講師(人)			実施期間	実日数	担当講師の延教育時間数
			専任	外来	計			
第39期		45	9	0	9	R3.5.8~R3.5.9	2	98
計		45	9	0	9		2	98

##### (2) 女性消防団員科

期	人員・日数	教育人員	担当講師(人)			実施期間	実日数	担当講師の延教育時間数
			専任	外来	計			
第16期		30	10	1	11	R3.5.22~R3.5.23	2	101
計		30	10	1	11		2	101

##### (3) 小型無人航空機(ドローン)基礎研修

期	人員・日数	教育人員	担当講師(人)			実施期間	実日数	担当講師の延教育時間数
			専任	外来	計			
第4回		23	0	4	4	R4.2.9	1	24
計		23	0	4	4		1	24

##### (4) オフロードバイク研修

期	人員・日数	教育人員	担当講師(人)			実施期間	実日数	担当講師の延教育時間数
			専任	外来	計			
第4回		17	0	2	2	R4.2.2	1	12
計		17	0	2	2		1	12

#### 5 その他

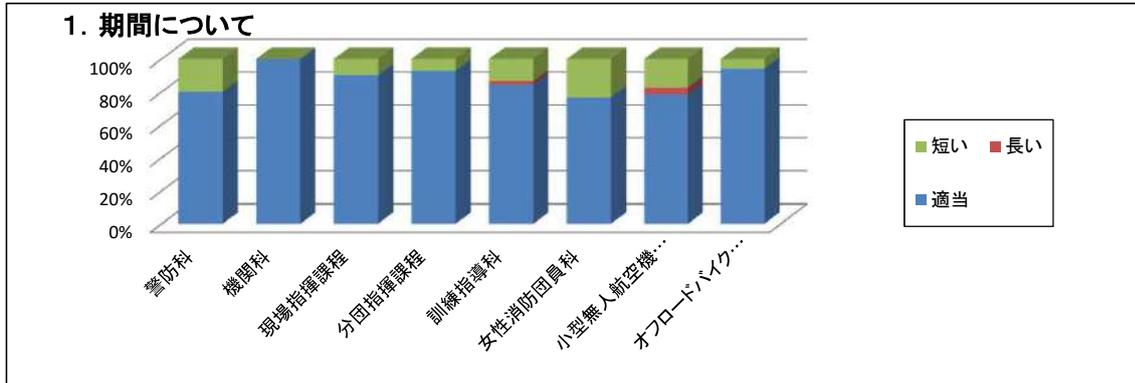
##### 指導員研修(消防協会主催)

期(年度)	人員・日数	教育人員	担当講師(人)			実施期間	実日数	担当講師の延教育時間数
			専任	外来	計			
令和3年度		40	10	0	10	R3.11.28~11.29	2	60
計		40	10	0	10		2	60

6 教育訓練アンケート結果

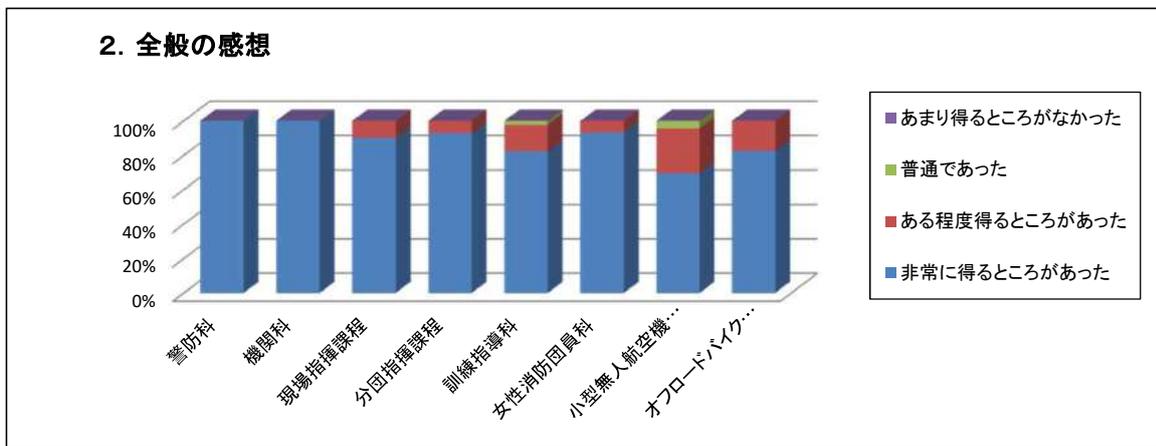
(1) 期間について

	警防科	機関科	現場指揮課程	分団指揮課程	訓練指導科	女性消防団員科	小型無人航空機 (ドローン) 基礎研修	オフロードバイク研修
適当	4	3	9	13	38	23	18	16
長い	0	0	0	0	1	0	1	0
短い	1	0	1	1	6	7	4	1



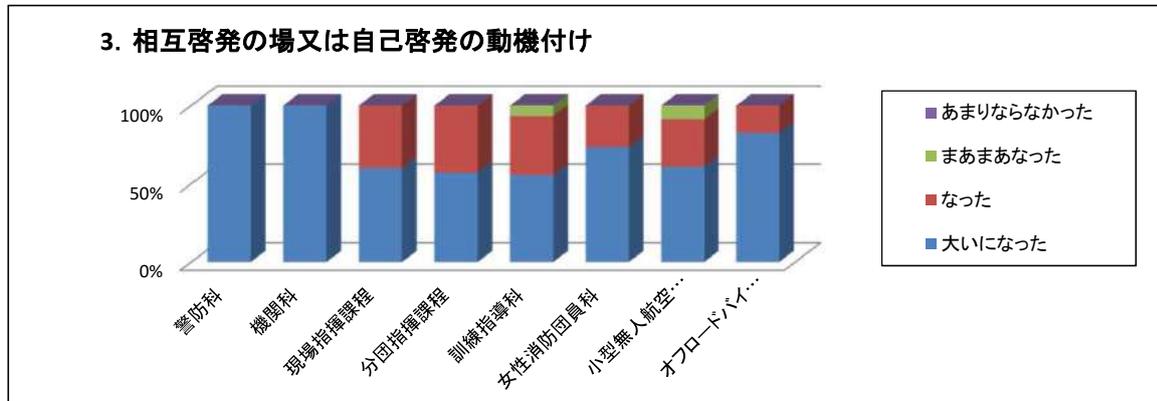
(2) 全般の感想

	警防科	機関科	現場指揮課程	分団指揮課程	訓練指導科	女性消防団員科	小型無人航空機 (ドローン) 基礎研修	オフロードバイク研修
非常に得るところがあった	5	3	9	13	37	28	16	14
ある程度得るところがあった	0	0	1	1	7	2	6	3
普通であった	0	0	0	0	1	0	1	0
あまり得るところがなかった	0	0	0	0	0	0	0	0



(3) 相互啓発の場又は自己啓発の動機付け

	警防科	機関科	現場指揮課程	分団指揮課程	訓練指導科	女性消防団員科	小型無人航空機 (ドローン) 基礎研修	オフロードバイク研修
大いになった	5	3	6	8	25	22	14	14
なった	0	0	4	6	17	8	7	3
まあまあなった	0	0	0	0	3	0	2	0
あまりならなかった	0	0	0	0	0	0	0	0



第4 企業の自衛防災組織等に対する教育

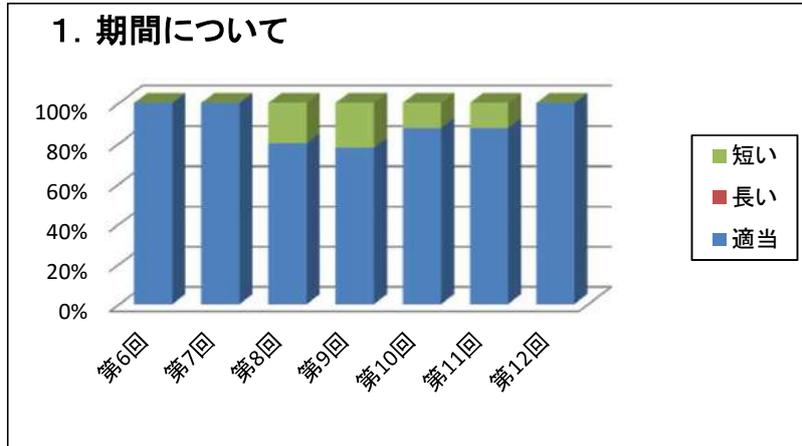
自衛防災要員等研修

回	人員・日数	教育 人員	担当講師			実施日程	実日数	担当講師 の延教育 時間数
			専任	外来	計			
第 6 回		6	10	1	11	令和3年 5月26日	1	51
第 7 回		5	10	1	11	令和3年 6月8日	1	51
第 8 回		5	10	1	11	令和3年 6月17日	1	51
第 9 回		18	9	1	10	令和3年 11月4日	1	46
第 10 回		16	8	1	9	令和3年 11月9日	1	41
第 11 回		8	8	1	9	令和4年 2月15日	1	34
第 12 回		8	10	1	11	令和4年 2月17日	1	42
計		66	65	7	72		7	316

## 2 教育訓練アンケート結果

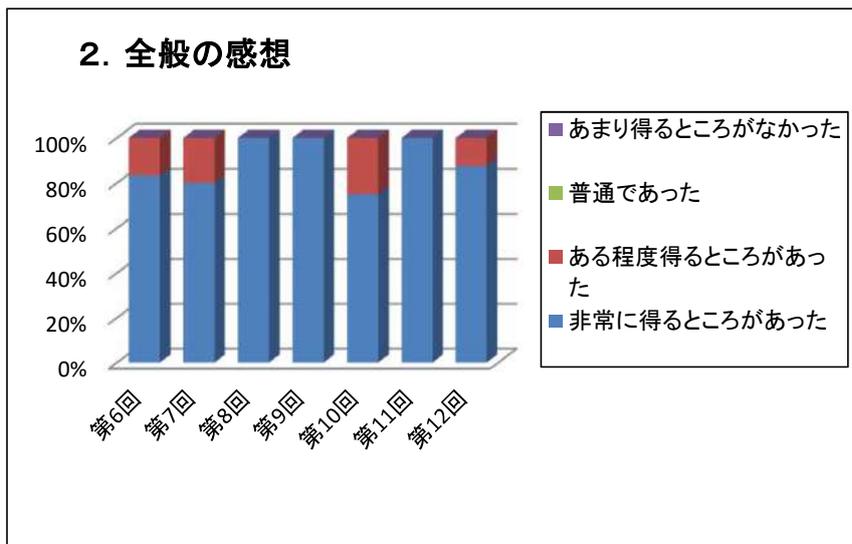
### (1) 期間について

	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
適当	6	5	4	14	14	7	8
長い	0	0	0	0	0	0	0
短い	0	0	1	4	2	1	0



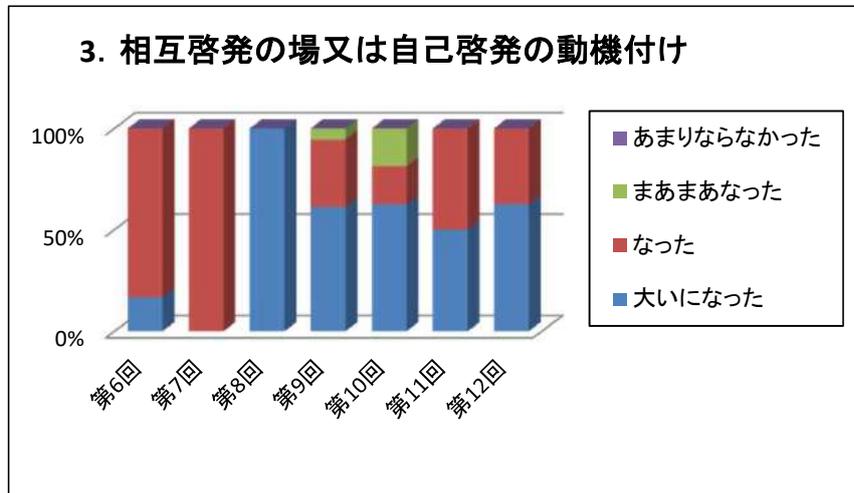
### (2) 全般の感想

	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
非常に得るところがあった	5	4	5	18	12	8	7
ある程度得るところがあった	1	1	0	0	4	0	1
普通であった	0	0	0	0	0	0	0
あまり得るところがなかった	0	0	0	0	0	0	0



(3) 相互啓発の場又は自己啓発の動機付け

	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
大いになった	1	0	5	11	10	4	5
なった	5	5	0	6	3	4	3
まあまあなった	0	0	0	1	3	0	0
あまりならなかった	0	0	0	0	0	0	0



第5 令和3年度資機材等整備状況

1 備品

資機材名	数量	資機材名	数量
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	3		
潜水用ヘルメット	15		
消防用ホース(6.5mm)	32		
空気ボンベ(FRP製)	4		
水中スピーカー(プール用)	1		
潜水用ボンベ(14リットル)	7		
墜落制止用ハーネス一式	23		
墜落制止器具(ランヤード)	50		

2 車両

水槽付消防ポンプ自動車(水I-B型) ※新車	1		
高規格救急自動車 ※中古	2		
指揮車 ※中古	1		

## 第6 千葉県消防学校の概要

### 1 沿革

当校は、消防組織法第 51 条の規定に基づき消防職員及び消防団員に消防の責務を正しく認識させるとともに、人格の向上、学術技能の修得、体力の錬成、規律の保持、協働精神のかん養を図り、もって公正明朗かつ能率的に職務を遂行し得るよう、その資質を高めることを目的として設置されたもので、教育訓練を開始して以来、次のような沿革を経て現在に至っている。

- ・ 昭和 24 年 4 月

本校の前身は、千葉県消防協会が消防職員の教育を目的として「千葉県消防練習所」の名称で市川市市川 1 丁目 24 番地の 2 市川市警防会館内（現在の市川市消防局）に開所された。

- ・ 昭和 36 年 4 月

消防組織法の規定に基づいて千葉市神明町地先（現千葉市中央区問屋町 1-11）に「千葉県消防学校」を設置し、開校された。規模としては敷地面積 1,650 平方メートル、建築延面積 844 平方メートル、鉄筋コンクリート 2 階建、一部望楼 5 階建、収容人員 40 名で専任職員数は 3 名であった。

- ・ 昭和 46 年 5 月

千葉県行政組織規程の改正により次長制が施かれた。

- ・ 昭和 46 年 7 月

校舎は総工費 1 億 5 千 6 百万円余をもって千葉市仁戸名町 666 の 2 に新築移転した。規模としては、敷地面積 35,905 平方メートル、建築延面積 2,894 平方メートル、鉄筋コンクリート本館 3 階建、寄宿舍 2 階建、収容人員 120 名で専任職員数は 9 名であった。

- ・ 昭和 47 年 9 月

消防学校第二期工事として、訓練塔（30.6m）、補助塔（24.6m）、車庫（290 m<sup>2</sup>）、国旗掲場塔総工費 6 千 6 百万余をもって完成。

- ・ 昭和 47 年 12 月

千葉県消防学校歌（作詞・石井隆氏、作曲・池田虎正氏）を制定した。

- ・ 昭和 49 年 7 月

工事費 9 千 7 百万円余をもって訓練のほか柔剣道各種体育等ができる屋内訓練場（延面積 1,445 平方メートル）が建設された。

- ・ 昭和 50 年 4 月

千葉県組織規程の改正により従来の次長制を廃止して庶務課、教務課の 2 課を置き、組織の拡大が図られた。

- ・ 昭和 50 年 11 月

全国消防長会の定めた救助法の基準に伴う救助行動全般の技術錬成のための鉄パイプによる組立訓練塔が工事費 1 千万円余をもって、既存訓練塔わきに増設された。

- ・ 昭和 50 年 11 月  
校庭環境整備工事完了。
- ・ 昭和 52 年 4 月  
職務の等級別区分（昭和 45 年・51 年 人事委告示第 9 号）の改正により校長職が 1～2 等級になり、また次長制（2～3 等級）が復活した。
- ・ 昭和 53 年 3 月  
水難救助訓練用プールを総工費 1 億 6 百万円余をもって完成。
- ・ 昭和 53 年 4 月  
千葉県組織規程の改正により、庶務課、教務課の 2 課を庶務課、教務第一課、教務第二課の 3 課とし、組織の拡充を図った。
- ・ 昭和 54 年 8 月  
放水訓練施設を総工費 480 万円余をもって完成。
- ・ 昭和 55 年 10 月  
サーキットトレーニング施設、完成。
- ・ 昭和 55 年 10 月  
消防学校寮歌制定、作詞・小山茂氏（柏市消防本部職員）、作曲・清原昭二氏（松戸市消防局職員）
- ・ 昭和 60 年 3 月  
新寮棟（80 名収容・1,677 m<sup>2</sup>）完成。
- ・ 昭和 61 年 4 月  
救助訓練施設（357 m<sup>2</sup>）総工費 7 千万円をもって完成。
- ・ 平成元年 4 月  
千葉県行政組織規程の改正により次長制を廃止して副校長制が施かれた。
- ・ 平成 12 年 4 月  
千葉県組織規程の改正により、庶務課、教務第一課、教務第二課の 3 課を庶務課、教務第一課、教務第二課、調査研究課の 4 課とし、組織の拡充を図った。
- ・ 平成 19 年 4 月  
千葉県組織規程の改正により、庶務課、教務第一課、教務第二課、調査研究課の 4 課を庶務課、教務第一課、教務第二課の 3 課とした。
- ・ 平成 19 年 9 月  
老朽化により補助塔（24.6m）を撤去した。
- ・ 平成 26 年 9 月  
CSRM 訓練施設、完成。
- ・ 平成 31 年 4 月  
市原市菊間 783 番地 1 に新築移転した。規模としては、敷地面積約 62,070 平方メートル、建築延面積約 16,928 平方メートルで、訓練施設としては、総合訓練塔、救助訓練塔、震災訓練場、水難救助訓練施設などの機能が強化され、

模擬消火訓練施設（A F T）、市街地救助訓練塔、水防訓練場や地下街・トンネル訓練施設が新たに設置され、充実強化が図られた。

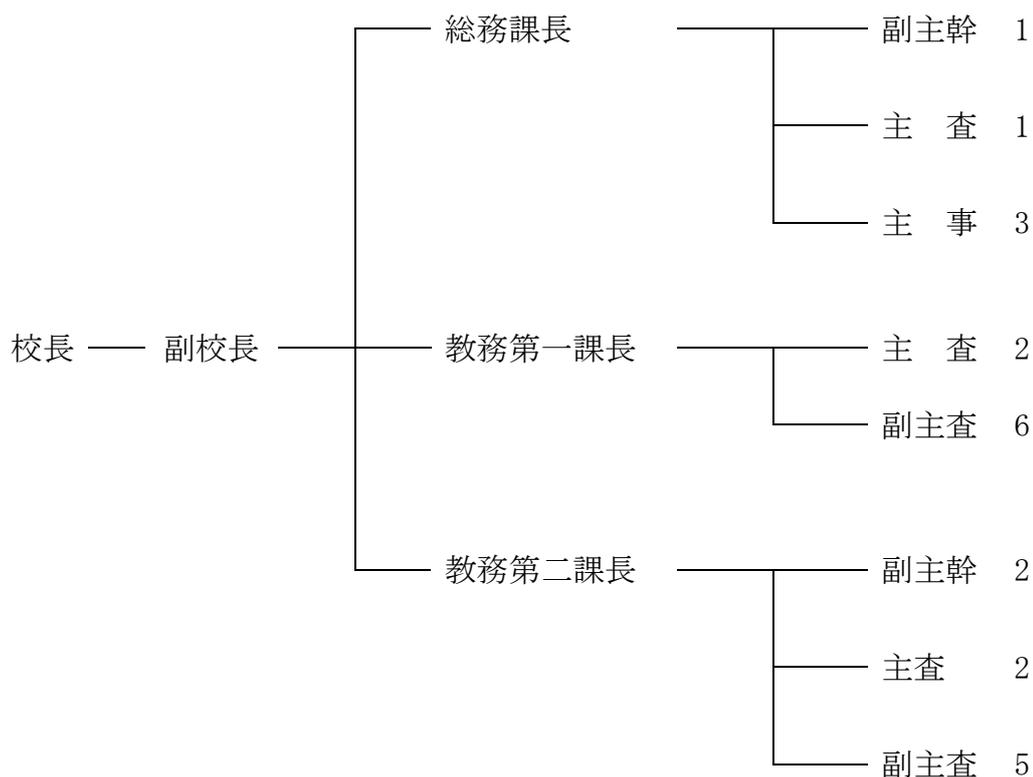
また、地域防災力向上のために、企業の自衛防災組織、地域の自主防災組織、行政職員、一般県民に対する様々な研修を行う「防災研修センター」機能を担うこととなった。

さらに、千葉県組織規程の改正により庶務課が総務課に改められ、学校移転に伴い、消防学校歌（作詞・栗原寛氏、作曲・福島康晴氏）を新たに作成した。

## 2 組織機構

本校の組織機構は各教育指導に対して的確に対応できるよう課制（総務課、教務第一課、教務第二課）が施かれ、年々教育訓練の徹底を期しつつある。

特に教務課員については、消防組織法第 51 条第 4 項の規程に基づく「消防学校の施設、人員及び運営の基準」の教員の資格（第 7 条）をすべて満たしており、令和 3 年 4 月 27 日における組織機構は次のとおりである。



### 〈事務分掌〉

各課の分掌事務は次のとおりである。

#### 総務課

- 1 校内の総合調整に関すること。
- 2 土地、建物等の維持管理に関すること。
- 3 教育訓練を受けるために入校する者（以下「学生等」という。）の宿泊その他施設の利用に関すること。
- 4 自衛防災組織及び自主防災組織の構成員等に対する防災教育の実施に関すること。
- 5 庶務に関すること。

### 教務第一課

- 1 消防職員の初任教育の企画及び実施並びに教育訓練効果の測定に関する事。
- 2 教科書及び教材の作成に関する事（初任教育に関するものに限る。）。
- 3 学生等の入校、退校及び卒業に関する事（初任教育に関するものに限る。）。
- 4 訓練用資材、機材及び施設の管理に関する事（初任教育に関するものに限る。）。
- 5 教育訓練の調査研究に関する事（初任教育に関するものに限る。）。
- 6 図書、文献その他関係資料の収集及び整理に関する事（初任教育に関するものに限る。）。
- 7 その他教育訓練の実施に関する事（初任教育に関するものに限る。）。

### 教務第二課

- 1 消防職員及び消防団員の教育訓練の企画及び実施並びに教育訓練効果の測定に関する事（消防職員の初任教育に関するものを除く。）。
- 2 教科書及び教材の作成に関する事（教務第一課において所掌するものを除く。）。
- 3 学生等の入校、退校及び卒業に関する事（教務第一課において所掌するものを除く。）。
- 4 訓練用資材、機材及び施設の管理に関する事（教務第一課において所掌するものを除く。）。
- 5 教育訓練の調査研究に関する事（教務第一課において所掌するものを除く。）。
- 6 図書、文献その他関係資料の収集及び整理に関する事（教務第一課において所掌するものを除く。）。
- 7 その他教育訓練の実施に関する事（教務第一課において所掌するものを除く。）。

### 3 施設等の状況

本校は、千葉市中央区仁戸名町から市原市菊間に移転新築し平成 31 年 4 月から全面供用を開始した。移転前の消防学校は、昭和 46 年 7 月に建設され 50 年近くが経過しており、建物及び訓練施設の老朽化や耐震上の不具合が生じ、また、複雑・多様化、大規模化する災害に対応するため、実践的な訓練施設の整備が求められていた。このため、平成 25 年 9 月に県庁内に消防学校の整備に関する検討会が設置され、同年 12 月に市原市に移転することが決定、翌年には、整備方針が策定・公表され、約 2 年半に渡る建物、外構工事などを経て、平成 31 年 3 月 22 日に落成式を挙行し、4 月に開校となった。

施設の状況については次のとおりである。

- (1) 所在地 市原市菊間 7 8 3 番地 1
- (2) 敷地面積 約 6 2, 0 7 0 m<sup>2</sup>
- (3) 建築延面積 約 1 6, 9 2 8 m<sup>2</sup>
- (4) 施設

名 称	構 造	規 模	面 積	
			建築面積	延面積
教育棟	鉄筋コンクリート造	2 階建	2, 370 m <sup>2</sup>	4, 590 m <sup>2</sup>
宿泊棟	〃	4 階建	2, 104	5, 535
屋内訓練場・防災備蓄倉庫	〃 (一部鉄骨造)	4 階建	1, 655	2, 921
車庫棟	鉄骨造	1 階建	1, 085	1, 071
水難救助訓練施設	鉄筋コンクリート造	1 階建	227	231
地下街・トンネル訓練施設	〃	1 階建	824	839
総合訓練塔	〃 (一部鉄骨造)	7 階建	428	1, 552
救助訓練塔	鉄骨造	2 階建	358	24
市街地救助訓練塔	鉄筋コンクリート造	1 階建	145	108